



ヤフーブログからセレクト転載、スナップ印象派、ツイッターノベル、おもしろ印象派などジャンルいろいろ、オリジナル写真も多数掲載して、よみやすいe-hon（閲覧無料）です。ダウンロードもOK！URLからアクセスしてぜひ。

Puboo ブログ e-hon 『ひょうたん鯨』（13Titleから増殖中〜♪♪）

<http://p.booklog.jp/users/axros03>

：

下記は閲覧ページの一部です、ダウンロードしてお暇なときにお読みください。

≒140字物語 ひょうたん鯨

<http://p.booklog.jp/book/118396/read>

ひょうたん鯨：1

<http://p.booklog.jp/book/19047/read>

ひょうたん鯨：2

<http://p.booklog.jp/book/34561/read>

おもしろ印象派

デジ撮！オリジナル「新・おもしろ画像」と「印象記」ア・ラ・カルト。珈琲タイムに、見て読んでニュートラルなひとときを、ぜひ！

<http://p.booklog.jp/book/19408/read>

スナップ印象派：1

<http://p.booklog.jp/book/61780/read>



チーズがブーム

牛が人間を支配する近未来、そこでは人乳由来のチーズがブーム。

「カラダに脂肪が付きにくくダイエットにいいのよ」と、

牛たちが列を成してCOWのだ。

近ごろ品切れ気味で、店頭ではひづめを蹴立てて奪い合い、

「あらOXさん私の前に並ばないでよ、んもーっ！」などと。 #twnovel

:

相席旅館

「相席酒場がありゃーすけ、相席旅館なんてのあってもええやおへん？」

「いやいやお客さま、だからといって女性が無料というのはちょっとムリが、

それにここは観光ホテル、ラブホじゃありませんから」 #twnovel

と、旅館の玄関で押し問答をしている、

(加藤大介似の)番頭さんと怪しいアベック客。

:

一升瓶の話

ICUで「オペ中に1升の出血がありましたよ」と事もなげに執刀医。

そのときまっ先に思い浮かべたのは、一升瓶（1.8ℓ）だ。

1ℓだと、あの“なで肩瓶”のどの辺まで入るんだろ？と。

退院後、足りなくなった血液はお酒で補うことにした。 #twnovel

さて今夜は、ワイン、日本酒、ウィスキー、それとも泡盛。

:

パチンコ原罪論

夫さんが転勤辞令を拒否して退職、すぐには仕事が見つからず、

かといって家でゴロゴロしている訳にもいかず、毎日外出してパチンコ通い、

あげく中毒になってマチ金地獄。妻さん、子どもを連れて離婚、

一家離散・・・という陰惨な話を最近聞いた。 #twnovel

パチンコを法律で禁止して、Keirinを推奨しよう。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



ポイズン

...このお薬を一粒服用すると、

死に至るといふ副作用があります。

しかし速やかに逝くことができますので、

安心してご使用いただけます。

こちらが二週間分のお薬になります。

...はあ・・・？ #twnovel

:

アマゾン鰐

近所の小川でカエルの卵のかたまりを掬（すく）ってきて、

洗面器で育てている。

まず手足がニョキニョキと生えてきた。

次の日、顔やシッポがやたら細長くなり始めて・・・!?

なにも知らずに育てたアマゾン鰐（ワニ）に、

家族みんなが食われるまで、あと13日！ #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



ハングル血文字 *1

殺人事件が発生、捜査員が現場に急行した。

被害者がハングル文字でダイイングメッセージを遺していた。

しかしやたら画数が多いものだから、血が垂れて流れて、

辿り着けない“迷路 L a b y r i n t h”のような文字になっていた。

これでは読めない！

ここは釜山心頭、沖合から汽笛が響く午前零時まぢか。

現場からは以上スミダ！ #twnovel

*1 例えば『罅』は22角、端（はな）から読めない。

:

誰も寝てはならない

睡眠は自死である。

毎夜『生』と『死』の危うい崖淵を、

行こうか戻ろうかと彷徨（うろつ）いている。

やがて意識が遠のいて深遠へ墜ちていき、また覚醒を果たす。

人はみな自死するたびに歳を重ねるといふ、

論と証拠がここにある。 #twnovel

:

ロバのパン屋さん

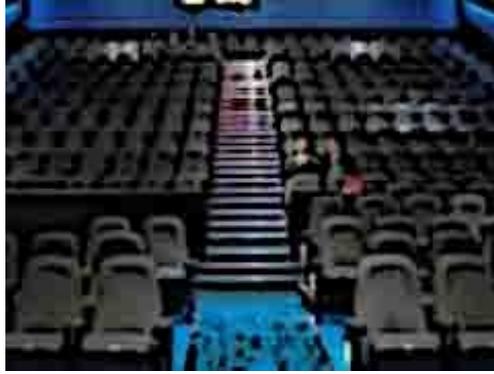
ボクは小さいころパン屋さんになりたかったんですが、

気づいたらロバになっていました。

・・・いま？親方さんに荷車牽かされています。

ぶひっぶひっ！ #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



試写会にて

完成試写会。ステージには監督や主演俳優たち、満席の館内。

エンドロールが終わったあと、客席から老夫婦の拍手。

しかし拍手の輪が広がらない。・・・スクリーン袖から客席を覗いた監督は、

感極まって嗚咽をこらえている観客たちを見た。 [#twnovel](#)

：
さてこの先

年収不足、独身、少子、人口減、年金破綻など・・・不幸のスパイラルが続く。

こうなることは昔から分かっていたのに、

国の官僚たちが事なかれの能力不足で。

ほら聴いてみて、巷（ちまた）の怨嗟の声を。 [#twnovel](#)

連れ合いが欲しいよ、子どもが欲しいわ、でもなあ、でもね

：
中高一貫

銀座の鮓店で、カウンターに座った小学生連れのお父さん。

わが子に鮓デビューさせようとレクチャーをしている。

しばらくして、緊張した面持ちで小学生、

「中高一貫お願いします」と。大将、思わず「はい!？」と聞き返した。

受験シーズンだったのだ。

・・・やがて中トロ一貫が握られた。 #ツイノベ

：
輪廻転生

幼少時に失明した青年。ドナーを得て無事手術を終えたのだが、

“見え“がおかしい。道ゆく人たちの顔が、は虫類や昆虫などの顔に見える、

まるで仮面舞踏会 なのだ。

なるほどこれが『輪廻転生』、生まれ変わりの姿なのかと。

その時ふと、ウィンドーに映った自分の顔を見ると！ #ツイノベ

：
騙されやすいほ乳類

未来、異星人が足しげく地球に訪れ始めた。

ほどなく、惑星間で会話できる『翻訳機』が開発された。

異訳によるトラブルを恐れた政府により、

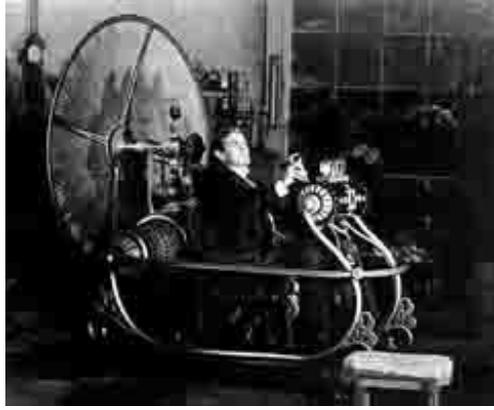
異星語を善意に翻訳するようにプログラムされた。

かくして疑うことをしなくなった地球人は、

あっけなく異星人の詐欺集団の餌食に！ #twonovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

タイムマシン



タイムマシン

1960年。

発明家のジョージは、居間に据えたタイムマシンを

100年後の2060年にセットアップして起動させた。

数分後、彼とマシンは漆黒の闇の中にあった。

あたかも『スターウォーズ』（星間大戦争）のまっただ中。

地球は、戦闘要塞『デススター』が照射した

超レーザー砲によって灰燼（かいじん）と化していた。

ジョージが宇宙空間で窒息死したのはいうまでもない。

H.G.ウェルスはSF創世記にいち早く未来を夢想したが、

G.W.ルーカスの発想には及ばなかった。 [#twonovel short](#)

Photoは洋画『タイムマシン』（1960）



冤罪

すべての容疑が晴れて、私の犯罪は迷宮入りになるかと思えた。

しばらく安穏とした日々を過ごしていたが、いきなり逮捕された。

まるで身に覚えがない殺人事件に、

「冤罪だ！」と叫ぼうにもアリバイがない。

・・・その日その時間、私は殺人を犯していたのだから。 [#twnovel](#)

携帯クラウド

オゾン層が消滅した近未来。

折りたたみ傘のクニルプス社が、ミニ雲発生器『携帯クラウド』を開発。

ポーチ程度のサイズ、しかも角砂糖一個で24時間作動する省エネタイプ。

・・・街は頭上に『クラウド』を浮かべた歩行者やペットたちで。 [#ツイノベ](#)

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



夢魔の仕業

バッター長嶋一茂、

初球、剛速球がもろに顔面を直撃！

ものともせず第二球を打ち返してクリーンヒット！

が初球のダメージか、打席にうつ伏せに倒れ込んでぐるぐると這い回る。

「立てんぞ！ぐおおーっ！」と吠える。

しかし委細構わずピッチャー、這い回る一茂目がけて第三球、

また顔面に当たった！

グラウンドから抗議に駆け寄るキャッチャー

・・・といった支離滅裂な明け方の夢。

.

おい一茂、デッドボールで一塁へ進めるんじゃないか！

おいピッチャー、第三球はなんだよ！

どうしてキャッチャーがグラウンドから駆けてくるんだ、

そもそもなんでそんな所を守っているのさ!?

・・・などと、マッドマックス野球に魘（うな）される、

まさに夢魔のしわざ！ #夢

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



【記憶の話_壱】

：
近江屋

その昔、通天閣そばの串カツ屋でバイトしていたとき、

手すき時間に『串にさしたちっこい肉を叩いて平たく延ばす』という

作業をさせられていた。これがよく延びるのだ、面積で云うとほぼ3倍。

しかし何を用いて延ばしていたのか、記憶にない、

はて何だったか、スリコギだったか？

そういえばその近江出身の爺さん店主、

毎晩、手提げ金庫を小脇に抱えて前傾姿勢で帰宅していた。

その後ろ姿から“お金の本質”を見たようで・・・！

この店、Yahoo!画像を眺めていたらまだあったよ。

ちなみに拙（せつ）、

この所為ばかりではないが串カツはそれ程好きじゃない。

：

煮麺

行きつけの居酒屋でお酒のめに

「煮麺（にゅうめん）できますか？」と大将に訊ねた。

すると「あいよ、しばらくお待ちを」と言い残して勝手口から出ていった。

しばらくして帰ってきて拵え始めた。

すぐ隣のA E O N系スーパーへ『素麺』（島の光）と

『茄子』を買いに行っていたことを、かなりあとで知った。

煮麺に茄子は当地讃岐の定番だ。お汁（つゆ）はもちろん、

馴染みの『ダシ入り味噌』（マルコメ）を溶き入れていた。

家でいつも食べていだから旨かったが、

ちなみに素麺だと『市販のめんつゆ』と決まっていた。

料理が達者なのかどうか、さっぱり分からん大将だった。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



【記憶の話_貳】

本読みのこと

3～5歳のころの娘と息子（5つほど年が離れている）を両側にして、

布団にうつ伏せて絵本を読んだ記憶が、かなり鮮やかに残っている。

あれはハッピー感100%を超えた至福タイムだった。

・・・子どもに本を読んでやるのって、

なんともいい触れ合いだったな、と遠い目で。

:

義父のこと

ビルマ（現ミャンマー）から無事生還してきた義父（SAIの父）、

インパール作戦には狩りだされていなかったようだ。

結婚して三人の子どもに恵まれて、

家を新築、庭（お気に入り）もつくって順風満帆かと思えた、

働き盛りの四十半ば脳梗塞で死去。麻雀&競輪好きで

酒は嗜（たしな）まない生真面目な性格だった・・・などと聞くたびに、

生きていればどんな付き合い方をしていたのかと。

ちなみに酒以外は拙（せつ）の趣味とおんなじだった。

:

お袋のこと

私のお袋、断舎利などという、そんな言葉が一般に知られる前から

身の回りをシンプルにする、直列タイプの人だった。

古本屋さん通いでせっせとためた、

スクリーンとか映画の友、キネマ旬報などの『映画誌』。

大学の夏休みだかに帰ってくると、「バザーに出したわで」と、こともなげ。

その他、田舎家は広いからと運び込んだ、

仕事場のマップケースなどの大きな事務系不要品、ある日帰ると跡形もない。

「どこへやったんや?」「ゴミに出した」と平然、

ワタシ唾然!とあったことが多々。モノを大切にするのもいいが、

捨てるときはせっせと捨てるの、ありかも。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



みかんの花咲く丘

...フルーツだと何がお好きですか。

...ええ、オレンジですかね。

合唱曲『みかんの花咲く丘』が静かにながれるオペ室。

薄れていく意識のなか、麻酔マスクから微かに夏みかんの匂いが降りてきた。

・

城之内博美（内田有紀）に似た麻酔科医と、

デイルームでオペ前日の打合せと四方山（よもやま）話（*1）。

たしか執刀医は大門未知子と言ったか、

失敗する、なんてことないよな。 #ツイノベ

*1) 【四方山話】いろいろな話題の話。世間話。

：

妻のお使い

一昨夜、晩ご飯用にご近所の鶏やさんへ、

コロッケを買いに行った妻がまだ帰ってきません。

間違って養鶏ゲージに迷い込んだのでしょうか、

にわたりのエサを横取りしていなければと、心配です、コロッケが。

あすの朝あたり、妻が卵を産み落としていそうな予感がしますので、

迎えに行きますかね、産みたての卵を。 #ツイノベ

:

笑うしかない

その日、彼女から手渡された白いハンカチ。

...なんだよこれ!?

...TVのバラエティでやっていたの、

白いハンカチは『別れのしるし』なんだって。

あの白いハンカチ、どこへやったっけな。 #ツイノベ

:

姓と性

夫婦別性問題には寛容でなくっちゃね・・・と言っていた彼女、

3日前に会ったら男に性転換していた!という、嘘。 #ツイノベ

:

火の用心

窓辺でツイートしていると、家の前に消防自動車が音もなく停まった。

先ほどからなんかきな臭いぞ、

と鼻をひくつかせていたから、まさか!?!と表に飛び出した。

・・・消防のおにいさん

「ひとり暮らしのお年寄りの家を訪問して、火の始末を確かめています」とは。

これから寒くなるからなあ。

:

クラッシュボトル

荒れそうな宴会用に、

殴り合ってもかんとんに割れてケガをしないビール瓶がつくられた。

映画やTV撮影で使用されている『クラッシュボトル』に似ているが、

素材が水アメなので溶け出して

ビールが甘くなるという欠点がある・・・なわけねえだろ～♪♫#ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



寒波なキス

初めてのキスだった、眼をとじて静かに唇を合わせた。

鼻水がひとすじ流れた。

しまった！と思ったが、鼻を吸っても最早戻せない。

とまた、つつーっと、今度は彼女だ！

緊張に鼻孔がひくつき、鼓動がノドの奥から打ち鳴らしている。

と、ふたすじの鼻水が合わせた唇でとどまって、複雑なテイストを醸した。

二人を感じあえる深い味わい、夜の公園、降り始めた細雪（ささめゆき）

・・・いつしかディープキスに。 #ツイノベ

:

口は災いのアベ

...ただいまの総理の発言に虚偽が露見しましたので、

国会侮辱罪で告発します。（野党）

...安倍晋三くん、前へ！（議長）

...えなに!? ええ〜っ! (安倍ちゃん)

即日、多数決で絞首刑が言い渡された。

ネットとテレビで世界配信された死刑執行の中継映像が、

未曾有の視聴率を叩き出したのは云うまでもない。 #twnovel

画像は邦画『また逢う日まで』（1950）から転載。不可の場合はご一報を。



忖度おじさん

ただいま閣議で、新元号が『忖度』（そんたく）に決まりました！

午後から安倍首相が、

墨痕鮮やかに『忖度』と揮ごうされたホワイトボードを掲げて記者発表。

この瞬間、彼が“安倍”の名前で呼ばれることはなくなった。

国民の総意で『忖度おじさん』があだ名として認知された瞬間だ。 #twonovel

さっそくネット徘徊者によって、

Wikipediaの安倍晋三「プロフィール欄」が書き換えられた。

:

I LOVE YOU

...見てご覧、月がとっても綺麗だよ。

...まあやですよ、お爺さんったら。

...?

ぽっと頬をあからめるお婆ちゃん。・・・夜空には仲秋の月が、

雲のあいまから艶（あで）やかに顔を覗かせていた。 #ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

サボテンの墓標



サボテンの墓標

メキシコ国境の長いトンネルを抜けると、そこは雪一色であった。

夜の底が白み始めていた。信号所にコヨーテの死骸が転がっていた。

雪をかぶったサボテンたちが墓標に見えた。

保安官たち追っ手から逃げおおせたようだが、

さてこれからどうしようかと、無人駅でジェシー・ジェームス一味。

一万ドルの賞金を狙って、フォード兄弟に射殺される

1882年4月3日まで、あと158日。#ツイノベ

:

鉄かぶと

第一次世界大戦、ゆいいつ熾烈を極めたマジノ線攻防。

突撃兵たちの頭上に飛び交う銃弾、その一発が彼の鉄かぶとにめり込んだ、

瞬間の衝撃、死の直感、目の前が眩しい光で包まれた。

気がついたのは野戦病院のベッドの上だった。

「きみ、命拾いしたね。銃弾が鉄かぶとを斜めから突き抜けたものだから、

その内側を何周も回っていたんだよ」と、

ひしゃげた銃弾を手に摘（つま）んで見せるドクター。

焦げた私のアタマの周囲に包帯がひと巻きされていた。 #ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



サンマー

一人三役で三人麻雀（サンマー）に興じる、

冥界の阿佐田哲也、当然一人勝ち。

ロンだぜ！またお前の和了（あがり）かよ。

へっへっへ、色川くん、風子*ちゃん、悪（わり）いな。 #ツイノベ

*色川武大（いろかわぶだい） 雀風子（すずめはかぜのこ）

:

君の名は。

...おいオマエ、ねえアンタで過ごしてもう七十年よ、

あんたの名前どう仰有いましたっけ。

...なにを言うきみの方から先に名乗りなさい！

おコタの中で交わす言葉は、いつも「君の名は。」 #ツイノベ

:

ツイッターにて

ある人のツイートが面白かったのでリツイートしたら、

(私のフォロワー全員に) 不快感を催させたようで、一斉にブロックされた。

そのある人、

「なんで知らない人にブロックされているのかなあ」と、

本気で悩んでいるそう。 #ツイノベ 私が悪いんじゃないからね！

Based on a True Story

:

暗いわね*

「一隅を照らす」を座右の銘にする私のふところには、

いつも数十枚の一万円札が突っ込まれている。

「一隅が暗いわね」と言われればすぐ照らしてあげるのだ、

マッチでお札に火を点けて。 #ツイノベ

*絵は和田邦坊、モデルは船成金の山本唯三郎

:

蛙の胃袋

げろっ！吃驚（びっくり）して胃がひっくり返ったカエル君、

のど元から飛びでた胃袋の壁を眺めてひと言

「このでき物みたいな、胃ガンじゃねえのか？」と。

早期発見、ステージⅠAだった。 #ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



井戸端・談・義

:

老人たち

ガスコンロに電気炊飯器をのっけないでください。 管理人

とある集合住宅で、貼り紙を眺めて

...なに書いてますのや？

...アホちゃうの、お焦げになるやろが。

などと話しているご老人たちを見かけた。 #ツイノベ

:

子いぬの話

...子いぬが5匹産まれてな、その次女が長生きしたんや、

って言うてたわで。

と、近所のお姉さんから聞いてきた愛犬話を語るSAI。

犬に、長男、三女、もしくは次男などと名付けるのか。

・・・それもありそうだな、と拙（せつ）。それだと牛や馬、みちかには猫も。

犬は安産多産、とすると生まれてくる順番をチェックしていた？

といえば臍の緒（へそのお）はどうなったの？

それとも獣医さんところで出産したの？などと矢継ぎ早に問いかけると、

...そんな知らんわで、私に訊（き）かんとして。

とSAI。 #余談

：
サラダ記念日

どうなこれ？と、

茶坊主とヒネ小姓*、二つの二つ名を持つ男に見せられた、

ちょっとぶ厚い本。手にとって中辺りを開くと、

ひどく行間のあいた文章が2ページにわたって10数行*並んでいる。

なに？・・・右から左へと行を追って読むが、何を書いてあるのか皆目、

行のひとつ一つはかろうじて理解できるものの、まるで意味が繋がらない！

その時の焦りようと云えば。*

そりゃそうだ、当時のベストセラー、かつ社会現象にまでなった

歌集『サラダ記念日』（1987）だった、俵万智の。

・
短歌本を初めてひらいた日 #余談

*二つある二つ名（渾名）を一つに並べたから、ちょっと長い

*読み返すと1ページ3行、見開きで6行だった

*ページを特定できた、既視感満々な58～59P、同じフレーズが2度3度。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



お母さんも通った女子高校で、
お母さんと同じステップを踏んでいるわたし・・・。

：

春の惑乱

初夏のメイポールダンス*で広く知られている、地方都市の女子高校。

私のお母さんも通った憧れの高校を目指して猛勉強。

そしてきょうは合格発表日、

校庭に急ぎょ設えられた、氏名と受験番号が書かれた合格名簿板を、

ざわつく胸を押さえつつ見上げた。

「あ、あったわ・・・あれっ!？」

何度見ても受験番号は合っているのに、私の苗字じゃない、名前も。

「どういうこと、不合格なのかしら、それとも何か手違いを!？」

一陣の春風が、校庭に今が盛りと咲き誇る桜の花々を舞い散らせた。

私の後ろで大きなはしゃぎ声が、「やったわよ、お母さん!」

振り返ると、セーラー服の女の子とお母さんが抱き合って小躍りしていた。

「えっこの女の子、私のお母さんが、

お家の古いアルバムから抜け出てきたみたい、顔も仕草も、制服も同じだわ！」

低くてハスキーな声も、お下げ髪も笑顔も、昔の写真を見ているよう！

とすると一緒にいるのは、私のお婆ちゃんなの？

どうなっているのこれ、一体いま何が起きているの!?

軽い目眩（めまい）を覚えた瞬間、さんざめく声と眼前の風景が消えていた。

その時だった、駆け寄ってきた中学校のクラスメイトに肩をたたかれた。

「合格おめでとう、また3年間一緒だね！

楽しみだわ、メイポールダンス、みんなで踊るのよ！」

「ええ、だけど私の名前が・・・」

「なに言っているの、あそこにあるじゃない、あそこよ！」

その指先を追って見あげた掲示板のさっきと同じ位置に、

受験番号に続いて自分の苗字と名前がハッキリと書かれていた。

「なんだ、私、何見てたんだろう。じゃあさっきの母娘・・・お母さんは？」

ふたたび振り返ったそこには、見知らぬ母娘が合格を喜び合う姿があった。

大勢の祝福の声であふれる桜の校庭に、暖かい光のシャワーが降り注ぐ、

あの頃の母と同年の春の午後のことだった。

：

やがて夏服に衣替えをする季節に。

メイポールダンスは、入学して最初に行われる『五月祭』のメインプログラム。

この日を楽しみにしてみんなで何度も練習した、

お母さんも輪になって踊ったダンス。

私たち新入生がまず一斉に校庭に駆けていった。

数メートルの木製ボールの先から吊された、

紅白の細長い布をそれぞれが手に、円を描くようにステップを踏んでいき、

次第に布がツートンに編み込まれていく様子に、

卒業生や父兄、見物の人たちからあがる大きな歓声。

私の家族みんなが観に来てくれていた。

お母さんと同じ高校に進学することが出来た喜びに、

胸が高鳴っていた。 #twnovel short

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

:

福岡の初夏の風物詩 福岡女学院の『メイポールダンス』* (参考)

<https://fanfunfukuoka.com/town/85425/>



眠い

おれはどうして他人（ひと）のクルマのなかで寝ている、

Kカーだろうか、狭いなあと手を伸ばすとエンジンキーがついたまま。

ボディカラーはチョコレートっぽい赤、女性のクルマか。

しかしひたすら眠い。キーを捻（ひね）ってエンジンをかけるが、

2～3人後方から歩いてくる気配を感じて、すぐさま切る。

ここから出ないと面倒なことになりはしないか、とドアを開けようとするが、

植樹壁とドアのすき間が十数センチほどしかなく、とても出られない。

左ドアから出ようとコンソールボックスを跨（また）ごうとするが、

何やら人のようなものが蹲（うずくま）っている。

「おい、そこどいてくれ」

・・・ん？と、目が醒めた。マッサージチェアで昼寝をしていたのだ。

まだ眠い、寝違えたようだ、首筋が痛む。 #夢 #ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



二度寝の女

昼前に出社した女、

腫れぼったい三白眼で「二度寝してまして、へへっ」と、

アシメトリーに笑った。

二度寝*という言葉が知らなかったから

「はは、そう」と釣られ笑い、心配までしてしまったよ。

その意味を知ったのは随分あとのこと。（怒！）

:

二度寝* 一度目覚めてもう一度寝ること。

ツイノベ「二度寝」に添える、適当なYahoo! 画像を探していたがあらかた女性、もしくはネコしかヒットしないのは何でだ!? もしかすると「二度寝」はオンナ族の特権もしくは専売なのか知らん、と思ってしまうのだ。

:

鶏脳考察

もう一杯飲もかな・・・。

とマイカップを手に珈琲のお代わりを淹れにポットまで。

と、立ちあがって一歩二歩、三歩でマイカップを手に立ち尽くす。

「はて、おいら何しにここまで・・・!？」

記憶が三歩持たない人のことを総じて『鶏脳（とりのう）』という。

頭をあちこち振るものだから視線がぶれて定まらず、

落ち着きのない人のことも（なぜかこの場合は女性に限る）こう呼ぶ。

かなり他人さまを揶揄（やゆ）した言葉なので、使用上の注意が必要だ。

：

家鴨（あひる）と鰐（わに）と

口をもごもごと反芻しながら“赤ら顔なアヒル”。

おや！と、道ばたに落ちている“ワニ顔のがまぐち”に眼を留めて、

なんか食べ物でも入ってねえかと突きはじめた。

「何すんや、おんどれ！」と顔を歪めて抗うがまぐち、

「ワニワニ！」「ぐえぐえ！」

・・・激しい路上の生存戦が始まった。

：

ちゃぶ台返しとおでんのチビ太

訥弁（とつべん）にして半径20㍻弁慶、かつ鷹揚（おうよう）な性格、

『魯鈍（ろどん）ポッチ』の“ちゃぶ台返し”は今やレジェンドに。

天敵は『チビ太』、おでん片手に「けけけっ！」と奇声を放ちながら

細心かつ小心な世渡り。

おでんのチビ太って赤塚コミックの中でイチバンの出世頭じゃなかったか。

彼にそのあだ名を付けた悪友連には先見の明があったんだな。

：
或るセールスマン

幾つもの謗（そし）り話をつなげて会話するセールスマンがいた。

セールスをしているからよく喋る。

謗り話はたちまち野火のように広がって人から人へ、

やがて真実の話として一人歩きを始めた。

：
数年を経て、回りまわった謗り話がブーメランと化して、

セールスマンの心臓に突き刺さったのは、

当然の帰結、もしくは因果応報とも言える。

巷間、「よくやったあ！」の快哉が飛び交ってやまない。

人に厳しく自分に甘い、或るセールスマン・・・それでもめげずに。

：
謗り話は主観の脚色、おおむね嘘話、プロパガンダである。その手法は第一次世界大戦時に確立されたという。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ひょうたん島は行くよ～♪



ひょうたん島は行くよ～♪

2017年、四国に巨大地震没発の予測！

四国会議はこれを機に、

日本列島からの離脱および漂流島として独立することを宣言！

・・・行く先は波まかせ、風まかせ～♪と

大海原（おおなばら）へ漕ぎ出した。 #twonovel

すでに全国各地の図書館の地球儀から、四国が消却されている。

：
団扇（うちわ）祈願

香川県民の皆さま、

お配りしたウチワを手に九州南端を向いて扇（あお）ぎましょ！

『一合ました』の音頭にあわせて、ヨーホイ～その杵あり高は～♪♪♪

県知事の掛け声で一斉に始まった『台風5号』コース逸脱祈願！

・・・まさか『大江戸打ち水大作戦』イベントに倣（なら）ったわけじゃ？

#twnovel

:

オクトパスカル

まだ海図のない昔々の西欧では、

大蝸がハリケーンが起こすと信じられていた。

その名残から現在でも、

カリブの一部地域では『オクトパスカル』が気圧の単位になっている。

『100オクトパスカル』と云えば、

背後で100匹の大蝸が暴れている、ということになる。

もちろん #嘘 だ。

:

Photoは高松市中央図書館の地球儀・・・剥がした奴、でてこい！



ペシミストの暮れ

...よいお年を～♪♫

別れ際にそう言われると悲観癖のある私は、

いいことなんかあるわけがないよ！と落ちこんでいる。

そう言えば今年の暮れはその言葉を一度も聴いていない、なんでだ！？

・・・としばらく記憶を辿っていて思いだした。

そうか納骨は年明けだったのだ、私の。 #twnovel

：
強力吸引ダイソン

正月に餅なし雑煮じゃ可哀想～と、

このホームでは老人たちに餅入りが振る舞われる。

大食堂にはもちろん、ノズル付き掃除機が備えられている。

...うぐっ喉に詰まった！

...お爺ちゃん、お口開けて（スイッチON）ほら取れた！

...おおすっきりや、雑煮もう一杯～♪♫ #twnovel

：

ダシしょう油の秘密

#twnovel 人気の製麺系うどん店の大将が急逝した。

跡を継ごうとした息子だが

「親父（おや）っさんのつくるダシが真似でけんっ！」と悩んでいた。

見かねた母「息子や、あれがお父さんのダシやで」と店の片隅を指さした。

そこには市販のダシしょう油瓶が何本も転がっていた～♪♪（讃岐発）

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



モゲラな夢

溪谷に渡された鉄橋をモゲラが、地響きを立てながら前進している。

上空を飛び交う円盤からは怪光線が。

そのシーンを、山あいの繁った樹々の間からそっと眺めている私。

子ども雑誌の、安手（やすで）なカラーページを見ているようだった。 #夢

:

紫陽花の記憶

裏庭でまっ赤なアジサイが咲いたの、初めてだわ！と

90歳を幾つか過ぎたというお婆ちゃんが、近所の人たちと話している。

・・・アジサイの根元から白骨化した手が現れたのは、

その三日後の早朝、降りつづく雨のあいま。

手は虚空を掴んでいるように見えた。 #twnovel

数十年前に行方知れずになっていた、お婆ちゃんの夫だった。

：

言葉の使い方

茄子、ピーマン、きのこなどを炒め合わせて、

一人住まいのクッキングは野菜炒め。

「ちょっと赤みがないなあ。色情的には人参が欲しいところや」と呟いた。

・・・それ、言葉の使い方がなんかちゃうで。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



キスの味

戦争中だったから何にもなくて、

真冬になると唇にナタネ油を薄く塗ってたの、乾き性だったから。

大晦日の夜、映画に誘われた帰り、いきなり母さんにキスして

「あ、鱧（きす）の天麩羅が食べたくなかった」って言うのよ。

いま思いだしても・・・うふっ、

私たちのお父さんったら、可笑しいでしょ、ねえ。

:

髪を切った日

ヘアサロンへ行ってきたのに、

夕食のテーブルで向かい合っても夫のリアクションがない。

「気づかない？思い切ってショートにしたのよ」

「ああいや、キミに悪いと思ってさ」

「・・・」

その夜から夫と口をきいてやらない。私の髪が長くなるまで。

：

告解中継

...まだNHK、告解（こっかい）中継やってるんか？

いま安倍ちゃんが告解室に入ったとこや。

傍聴席に、新潮も文春もおるで、あらアサヒはどこいったん？

【告解】（異訳）国会で自らの罪を明らかにすること。≡懺悔

：

想像妊娠

いまわの際に、母が子どもたちを枕元に集めて言った。

「薄々気付いているだろうけど、

お前たちはお母さんが想像妊娠で産んだ子なの」

「長男はブラピ、次男は嵐の櫻井、

長女のお前は、何といたっけ、あの裸の大將の」

「お母さん、なぜワタシだけ芦屋雁之助なのよお！」

：

四谷怪談

漆黒の闇、向こう岸の一隅を常夜灯がほのかに照らす。

水草が茂った堀割、

その岸辺に朽ちた戸板が一枚、波に揺られて浮きつ沈みつしている。

なんだこれは!？と、伊右衛門が暗い水面に目を凝らしたその時、

いきなり、ざっばあっ！と戸板が裏返った。

湯文字一枚、両手を大の字に括られた裸の女があらわれた。

ぐちゃぐちゃに乱れた髪、右目から頬骨辺りが、

熟しきった無花果（いちじく）のように裂けて、肉が露出している。

「お、お岩〜っ！」

：

・・・そんなイメージなんだよな、四谷怪談って。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

140文字≡ツイノベ≡Twitter Novel



キロ目の男

近年珍しい猛暑の午後、

所用で出かけた街角で偶然、学生来の知人に会った。

この7年の間、水も飲まず、食べ物も口にしていないという男だ。

なるほどぜい肉をそぎ落としてかなり細身といった風体だが、

顔の色つやが良く、奥まった目がキロキロと輝いていた。

表情筋が発達しているのだろうか、

眉や口もと、鼻翼が絶えず小刻みに細動している。

すぐさま、私の子どもがペットで飼っている二十日鼠を思い浮かべた。

水も食べ物も摂（と）らず、どうやって生きていられるのかと訊ねると、

『氣息』ですよと、さわやかな笑顔で答える。

古来仙人たちが生命源にしている、

『霞み』のようなものを吸っているということなのか、と

訊こうとしたが、約束の時間が迫っていて確かめられなかった。

：

彼と再び会ったのはそれから3年後の、またも炎暑の昼下がりに、

信号待ちで呼びとめられて驚いた。

奥まった目は相変わらずだったが、視線は焦点が定まらず、

以前のキロキロとした俊敏な輝きがなく、まるで別人の印象を受けたのだ。

彫刻家が粘土で肉付け中に制作を投げ出した塑像のように、

締まりのない顔付きとだらしなく弛（たる）んだ体躯。

皮脂を斑（まだら）に溜めて淀んだ、顎（あご）や首回りの皮膚、

両の肩でせわしく喘ぐような息づかい。

以前とは打って変わって不健康体そのものといった様相だった。

私が、訝（いぶか）っていることを察したのか、おもむろに話し始めた。

「10数年来『氣息』だけを栄養にしていますが。

ええ、お察しのように『氣息』は、

仙人たちがエネルギー源にしている『霞み』のことです。

それが未曾有（みぞう）の危機に……」

近ごろの健康ブームに目を付けた世界的なバイオ食品メーカーが、

『霞み』の商品化に成功。そのため人間の生息域はもとより、

未踏の深山や絶海の孤島に漂う『霞み』までもが採取し始めている。

さらに、偏西風に乗って飛来してくるアジア大陸の粉塵までが、濾過抽出、

日本人の健康被害が懸念されている状態なのです、

当然私も、と話しを続けた。

「以前は、自然界に無尽蔵にあった私の生きる糧（かて）が枯渇してしまって、人間の普通の食事に切り替えた途端この有りさまなのですよ」

・・・と、男はキロ目を虚ろに瞬（しばた）かせた。 #ツイノベショート

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

手配書



手配書

こんなんおりそうやで近くに、

などと言いながら警察署前の手配書ケースを眺めていると、

傍（かたわ）らからも同じ声が聞こえてきた。

首を傾けると知らないおっさんと目が合った。

おおお！後ずさって、お互いに両方向へ駆けだした。

・・・なに!? #twonovel

:

キョウコ

私はキョウコ、『王将』のジャオスが好きよ。

そうギョウザじゃなくてジャオス、ギョウザなんて言っちゃ怒るから！

私にこんな名前をつけたお父さんは、特にねっ！

・・・私はキョウコ、漢字で書くと餃子。 #twonovel

:

最後のオトコ

人類のオトコたちが新種ウイルスで絶滅した、

がなんでかオレだけ生きのびちゃった。

彼女いない歴30数年だが、こんな事態は困るのだ、

地球上のオンナたち全員を相手にするなどオレには！

・・・そして彼は、

宇宙ポッドに飛び乗って銀河の彼方へ飛び去った。 #twnovel

：

卵

小さい頃のボクは、

右のポケットで毒ヘビの卵、左のポケットで毒グモの卵を育てていた。

そのことを知ったいじめっ子たちはボクを避け、

いじめられっ子たちはボクと仲よくなった。

・・・しばらくしてポケットの中がごそごとと蠢（うごめ）きだして、

ボクのまわりから誰もいなくなった。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



即席ツイノベ遊び

:

言わずもがな・・・!?

彼女と一緒に招待されたそこは、雲よりも高い摩天楼の最上階レストラン。

エレベーターに乗ってしばらく上昇すると、

次第に室温が高くなって二人とも素っ裸に、続いて塩辛いシャワーが。

『注文の多い料理店』みたいだね、と不安げに見つめ合っていると、

やがてドアが開いて・・・！ #twnovel

:

キノコ様

朝起きたら、頭にキノコが生えていた。

細君は「夜はキノコご飯だわ！」と大喜び。

極貧生活の夫婦、電気・水道代金も払えず、これが最後の晚餐に。

しかしこのキノコご飯の旨いことといたらなく、隣近所にもお裾分け！

口づてに評判を呼んで、やがて地域グルメとして日本中を席卷。

男は今、キノコ様と崇められているとき。 #twnovel

:

やっすいわね！

これとってもいい品！デパートで買ったなら三千円はするわよ、

それがたったの千円ですって!?

じゃわたし2セット貰うわ、安い買い物したわあ！

みなさんもいかがかしら？

上品そうな身なりのおばさんが去ったあと、

わたしも、おれも！と買い手が殺到した。

・・・商品がクレパスだから、おばさんはきっとサクラだな。 #twnovel

:

誠意

その昔、賭場で大負けした形（かた）に、

身ぐるみ脱いで“誠意”をみせた博打うち。

今の今、彼女の部屋で発情、

身ぐるみ脱いで“誠意”をみせようとして110番された男。

誠意を見せるって難しいんだな、としみじみ。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

五日目の醜女



五日目からの醜女

美人は三日で飽きるって言うからさ、嫁に貰うならアタイにしときなよ。

後悔させないよ、絶対。

そうだな、醜女（しこめ）は三日で慣れる、

四日目には可愛いところも見えてくるというイギリスの諺もあるしな。

だけど待てよ、五日目からはどうなんだい。

だからさ試して見なよって。 #ツイノベ #twnovel

:

【Weblio辞書】

美人は三日で飽きる

読み方：びじんはみっかであきる

別表記：美人は3日で飽きる

美しい容姿の女性を恋人にしても、その魅力はすぐに感じられなくなってしまうという考えを表す語。言葉のあとに「ブスは三日で慣れる」と続けられることが多く、そのため容姿の美醜は恋人選びにおいて些細な問題であるという意味で理解されることが多い。また、間接的に見た目ではなく中身で恋人を選ぶべきだという意味にとられることもある。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



讚岐発。『毎日常みさん』の頓珍漢な日常を切り取る、不連続Twitter Novel。

毎日常みさん ①

:

その1_女中編 *孕（はら）んでいる

朝のかみさん。洗面所の小窓から、表をうろつくノラ猫を眺めて、

「うわ、また腹ボテ*になっとんちゃうん？」

「え、なんやて!？」と、ベッドに腰かけて自分のお腹を見下ろす夫。

:

ようやく起きだした夫、ダイニングで朝のひとつき。

「コーヒーもう一杯」「花粉かいな、くしゃみや、ティ〜ッシュ！」

「耳かきどこや、靴下穴あいてるわ!」「新聞!なに休刊日てか」

立て続けにかみさんに用事を言いつけていると、

「まるで私って女中やんか!他の用事がでけへんわ!」と大声で不満を。

で、『女中』ってどういう言葉なんだろう、『女の中の女』じゃないよね。

名前が菊だと女中の菊、端折って除虫菊・・・といえは蚊取り線香か、

ふむふむと、コーヒーを啜りながら独りごちる夫。

:

その2_お使い編

午後、かみさんが買い物に。

こんやの酒の肴（さかな）に『うるめいわし』を頼まれた。

「えっ？いわし、うるめ、それって干物なん？あそ、目刺しなんや」

「よりめ、たれめ、やにめ、とりめ・・・」などと呟きながら出かけた。

「ちゃんと覚えたんかいな、落語の『平林（ひらばやし）』とちゃうんやで」

：

その3_モテキ編

で、スーパーまでやってきたかみさん、

近所の仲よしおばさんとバッタリ会って立ち話。

「まあ奥さん、いつ見ても若いなあ、昔とちっとも変わってへんわ」

「なんかしてるん、エステとか」「そんなもん、なんもしてへんがな」

「ほんまに昔はお肌ぶるんぶるん、そりゃあもてたわで！」と、

財布から色あせた写真を出して、

「これがそん時の写真や、懐かしいなあこの若さ」

「・・・あ、あかちゃん!？」

「そう、この頃がモテ期ピークやったんやなあ！」

：

その4_北まくら編

長話の末に、ようやく干物コーナーにたどりついたかみさん。

『うるめいわし』を探していてふと、

となりの鮮魚ケースに並べられているお魚に目がいった。

「あのアジ、駄目や！北まくらで寝とるで、縁起悪いなあ！」

とその時、お店の壁の“大鏡”に映った自分の姿を見て、

「うわっかん、ワタシ“左前”にきもの着てたわ！」と、あわてて家に帰った。

・・・ダンナさんの酒の肴（さかな）はどうなったの。

：

その5_テレビニュース編

昼3時のワイドショー、

関東の某公園で『セアカゴケグモ』が目撃されたというニュース。

それを見たかみさん

「えっチュランタラかいな、かなわんで毒蜘蛛やろ！」と第一声、

それちょっとスペルが違うんやないか・・・ですぐさま夫、辞書を引いた。

漢字にすると『背垢後家蜘蛛』だった。

「なんや汚い後家さんみたいやな」って、ちょっと違うか。

事故にはならなかったが、排水溝とか公園の草むらとか、

隠れるところはいっぱいあるからそのうち、

かさかさと言い出てきて・・・うわっ！

：

その6_一尾買い

かみさん、向かいのおばさんといつもの立ち話。

「きのう、スーパーで『鯛のアラと切り身』を買ってな、

吸い物と刺身盛りを食卓にだしたんや」

「そしたらな、『おいっ！一匹買いしたんか！』いうて、

ダンナがびっくりしとったわ」

:

その7_卵の特売

洗い物の途中、かみさんに買い物を頼まれた夫、

エプロンしたまま出かけて、スーパーの売り場をうろうろ。

お客さんに店の人に間違えられて

「店員さん、卵売り場はどこかしら？」と訊ねられた。

「はい、卵でしたら向かいのスーパーで特売してますよ」って。

:

その8_道路工事

家の前で道路工事が始まった。

作業員が頭を下げて謝っている、お決まりのイラスト看板が立てられた。

それを見たかみさん、近所のおばさんたちと寄り合って井戸端会議。

「イヤやわあ！最初から頭下げてて・・・また何かやらかす気やで」

「先だっては水道管ぶち破ったなあ」「ガス管やったら怖いやんか」

道の向こうで、ミニシャベルが今掘った穴に落ちてあえいでいた。

：

その9_ばばばか篇

夕食後の団らん、テレビから歌謡番組が流れていた。

メロディに合わせて両手を器用に振る一歳の孫娘を見てかみさん。

「音感がええやなあこの娘、天才やろか！

大きくなったらピアニストにしようか？それとも作曲家、歌手もええなあ」

「そうになったら歌舞伎座でリサイタルやで、うわっどないしょ！」

「かあさん、そういうの、おしめが取れてから考えよっか」と娘。

「そ、そやな」

：

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



讃岐発。『毎日かみさん』の頓珍漢な日常と会話を切り取る、Twitter Novel。

毎日かみさん ②

:

その10_ズンドウ編

たまの休日、趣味でクッキングを愉しむ夫が、

かみさんの腰を抱き寄せて歌っている。

～ずん、ずん、ずんどこ～（小林旭のずんどこ節）～♪♫

「そうだこの感じやんか」「なにがな」

「いやなに、こんぐらいの大きさの寸胴（ずんどう）鍋が欲しいんや」

「・・・!？」

:

その11_ヘアカット編

夕ご飯のテーブルで向かい合うかみさん。

ヘアサロンで髪をカットして来たのに、夫は何も言ってくれない。

シビレを切らせてかみさんの方から口を開いた。

「鈍感ちゃう、気づかへんの？思い切ってショートにしたんやで」

「いや、気付いてたけど言うの気が引けてなあ」

「・・・！」

かみさん、あれから何日も夫と口を聞いていない。

夫の気遣いが仇になったのか、そこんとこどうなのかなあ。

：

その12_ナイトメア編

かみさん、ナイトキャップを聞こし召して頬ほんのりと上気。

こんやは月齢十五日、

窓辺から差し込む月明かりが尚更に胸騒ぎをかきたてる。

ベッドサイドの滋養強精『養命酒』は、ほぼカラッポ。

口からは紅い吐息をもらして

「ねえ、ぐふふっ♡♡」「うっわあああ〜！」

突然、がばっと目覚めた夫、胸にびっしょりと汗をかいていた。

木の芽どきに見がちな、ナイトメアにうなされていた。

「夢やったあ、ほんまに恐かったやないか、この阿呆たれめ！」

「こんな時間になんやの、突然起きだして、眠いがな」とかみさん。

：

その13_和洋折衷編

夕ご飯は外食。

「今夜は『和洋折衷』の店がええな」と、かみさん。

瞬間、往年の国際俳優『早川雪舟』の名前を脳裏に過ぎらせる夫。

さらに、せっしゅう、せっちゅうと云うと、八甲田山『死の雪中行軍』、

涙でネズミを描いたという禅僧『雪舟』伝説が思い浮かべる。

それはさておき『和洋折衷』だと割烹もしくは居酒屋、

いやバイキングも候補にあげられる！などと、夫と娘はウキウキ。

結局、かみさんの鶴の一声で『お好み焼き』と相成った・・・!?

「お好み焼きのどこが『和洋折衷』やねん！」と夫。

「何言うとするの、これ和食ちゃうやろがな！」負けずにかみさん。

「けど洋食でもないで、なあ、さあどっちやねんて！」と娘。

:

その14_ 𪗇と嬬編

リビングでソファに仰向けに寝そべてかみさん。

両鼻を詰まらせて執拗なピストン𪗇（いびき）をかいている。

ポカンとひらいた口を眺めていてふと

「𪗇と嬬（かかあ）、よく似た漢字やなあ」と。

「あ、いや、それだけのことやから他意はないからね、決して」

誰に言うとはなく謝っている夫、

悲しい習性だね、怯（おび）え性とでもいうのか。

：

その15_挫折編

お昼のニュースを観ていたかみさん、

「うわっ、イタリアの客船が“挫折”したんやて！」

「ちゃうやろ、それ。挫折してどうするんや、“座礁”やろ」と夫。

ちょうどそこへ近所に嫁いでいる長女から電話

「もうすぐ“ぎょうらく”のシーズンや。どっか日帰り温泉でも行かへん？」

「なんやこの娘は、それ言うなら“こうらく”やろ、行楽」

母娘の会話を聞いていた夫、飲んでいたコーヒーを吹きだした。

：

その16_もち肌編

5歳になったばかりの孫娘はかみさん好き、いつもくっついている。

その日もリビングで昼メロを観ているかみさんに

「もち肌やね」「嬉しいこと言うてくれるわ、この娘」

「けど、もち肌ってどこで覚えたん？」

「テレビでや。ほんまにぷよんぷよんや、ほらここ」

「どこ突っついてんの、そこお腹やんか」

と、とつぜん餅が食べたくなったかみさん、

正月に搗（つ）いたばかりの餅をオーブントースターへ。

:

その17_鬼の霍乱編

連日の猛暑で体調をくずして、

ソファで横になっているかみさんを心配して、5歳の孫娘。

「じいちゃんが、怖そうな病気の名前言うとしたけど大丈夫な？」

「なあばあちゃん、『オニのカクラン』ってどんな病気なん？」

それを聞いたかみさん、のっそりと起き上がってパソコン検索、

画面の文字をぶつぶつと読んでいるかと思ったら、

突然、大声を張り上げて夫を呼んだ。

「あんたなに考えてんの、ほんまにあたしシンドイヤで！（怒）」

:

その18_フカ（鮫）ヒレ編

かみさん、近所のおばさん連中といつもの立ち話。

「うちの旦那いうたら、“フカヒレ”みたいな大酒飲みやから」

「フカヒレ・・・!？」

「フカヒレって、中華料理のあれかいな？」

「あんた、それやったら“フカ”みたいに飲むって言うんやで」

「フカってごっつい大ぐちやから、大酒飲みに喩えられたんや」

「ほんまかいな大口かいな、あっははは～♪」と、

高らかに大ぐちを開けて笑うかみさん。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



そばつゆ

江戸末期から続いた老舗そば屋、四代目の父が脳梗塞で突然死した。

五代目の息子、

そば打ちはマスターしていたが、麺ツユの味がどうしても再現できない。

もはやこれまで！と店を畳もうとしたとき、

追廻しの小僧が「先代はいつもこれを使っていましたよ、若旦那」と

『業務用の麺ツユ』を差しだした。

:

ヨイシヨ

スゴ腕ガンマンに決闘を挑まれた場合、

思いつく限りのヨイシヨでガンマンを煽（おだ）てる。

これは相手の気分を良くして、銃の照準を狂わせるテクニック。

日本の幫間（ほうかん）芸をベースにしたサバイバル術である。

・・・この芸は後世、彼の地でスタンダップコメディとして昇華された。

：

よくある話

パトカーからの逃走など5件に及ぶ違反で罰金刑、

2年間の免許停止を受けている女性、またも無免許運転で逮捕。

友人の付き添いで警察に出頭。

帰りはそのクルマを自分で運転して帰ろうとした。

窓から見ていた担当署員「何やあのオンナ！ケーサツ舐めとんのか！」

・・・よくある話だ。

：

秋の空

「空が高いのは、きっとアタシが縮んだからだわ」

「空があんなにキレイなのは、やはりボクの心が汚れたからだね」

公園のベンチに腰かけて老夫婦、秋空を見あげて呟いている。

「違うよ、秋は空気が澄んでいるから、そう見えるんだよ」と、

学校帰りの小学生。

：

他愛のない話

深夜目覚めると、

枕元に「実家に帰らせていただきます」と

書き置きを残して妻がいなくなっていた。

「え？おれ入り婿だぜ、あいつの実家はここじゃないか」

その時彼女は、薄暗い台所で一人ラーメンを啜っていた。

「おれにも夜食つくってくれよ」「ふんっ」

・・・他愛のない夫婦喧嘩はオチもなく。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



痛風のひと

あん肝、河豚の白子に明太子。

わたしゃお魚さんの肝と卵が好きでなあ、それとレバー刺にフィレスステーキも！

近ごろ足の親指の付け根が酷く腫れてしもうて、なんでやろか。

風が吹いても痛いんやであんた、可哀想や思って、

そのプリン体ちょっとわたしにも頂戴な・・・なあて。 #twonovel

：

御簾の奥

五輪真弓、センターにわけた長い黒髪をグイッ！と後ろに引っ掴むと、

広い額（ひたい）をのけぞらせて

「ワタシは歌手よ、作曲家よ、作詞もしてるのよお～っ！」と

叫びながら邸宅奥へ姿を消して、

ついに唇を奪えなかったという記憶が数世紀も前にあった。

いまは御簾（みす）の奥で侍女に湯浴みなどをさせているのか!? #twonovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ペリーさん驚がく



ペリーさん驚がく

ペリー来航の幕末期、行水や銭湯などで女性の裸はごく普通に見られた。

これに驚いたアメリカ人、帰国してすぐ『大江戸ツアー』を企画。

ツアープランには、

路地裏『女性の行水』見学や、銭湯『混浴』体験を盛り込んで大盛況。

しかし日本女性の激しい反対運動に遭って、

2回目以降はあえなく中止に。 #twnovel

:

によういとによい

厠（トイレ）の場所を知らされていず、

ついに松の廊下で失禁してしまった内匠頭。

「尿意（にようい）で御座る！」上意書を掲げて切腹を言い渡す幕府使者。

「尿意（によい）！」とひれ伏す内匠頭。

ピクト案内さえ設えてくれていれば、と上野介に恨み骨髓の赤穂浪士。

長い復讐劇の始まりだった。 #twnovel

：

カメラ目線

世間を震撼させた『女性連続殺人事件』の公判。

犯行現場で撮ったパラロイドが有罪を決定的なものに。

セルフで撮られた中の1枚。切り取った手首にVサインをさせて持つ青年、

背後の冷蔵庫に虚ろなカメラ目線の女の生首。

法廷内に起きるおののき、青年の口もとは舌舐めずりで濡れていた。 #twnovel

：

オノマトペ

わゝ ああっ！いゝ やあゝ ！きゝ ややゝ あゝ ！

・・・スリル濁点、という新しい表現手法が見なおされている。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

打ち上げ花火、上から見るか、下から見るか



打ち上げ花火、上から見るか、下から見るか

打ち上げ花火を空の真上から眺めるのが夢だった。

それも、花火大会のいちばん最後に打ち上げられる、大尺玉の真打ちを。

今夜は天竜川開きの日、屋形船や伝馬船が川面に群がり、

大橋や両岸は涼やかな夏衣装の人垣でみっしりと埋まっていた。

一帯には夜店や屋台が立ち並び、嫌が応にも祭り気分が盛りあがっていた。

オープニングからおおよそ小一時間、

煌（きら）びやかな工夫を凝らした花火が、次々と夜空に上がっていった。

ボクはといえば、町を見はるかす丘の頂きにある、

病院の窓辺のベッドにいて眼下の花火を眺めていた。

父や母、姉たちがそばに付き添い、枕元には心拍や血圧、

心電図を計測する器械が置かれていて、ときおり電子音を発していた。

今夜が命の限りだということを子どもながらに理解していた。

色とりどりに夜空を照らす打ち上げ花火の明かりがしばらく途切れたあと、

最後の『正四尺玉ビッグスターメイン』が、天空を目指して駆け昇っていった。

心電図の波形がフラットになろうとしていたその時、ボクは空の高みにいた。

眼前でビッグスターマインが爆裂、光と色の匠（たくみ）の結晶が解き放たれた。

スローモーションで放射状に広がっていく極彩色の輝きを、

しっかりと眼を見ひらいて脳裡に焼きつけていた。

眩（まばゆ）さを懸命に堪（こら）えながら。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



暗は愚

性格だか見た目だかが薄ら寒いと、

まわりの人間たちの気持ちまで鬱々とさせる、

存在の理不尽さが苛立たせる。

そういった輩（やから）に限って、厚顔無恥にしてかつ鉄面皮、

立ち位置を心得ていながら、知らぬ顔の半兵衛を決め込む確信犯。

暗愚な空気をどんよりと伝播するのは己（おのれ）のテリトリー*、

六尺三寸五分の内にしといてくれ。

ほらまた、

頭上に人魂（ひとだま）を連れているじゃねえか、ばかやろめ。 #twnovel

*テリトリー＝両手を横に伸ばした、その直径内

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



博識ぶるおじさん

#twnovel レストランでおじさんと若い女性。

「ドイツじゃ、サラダは処女の手で和えよ、って言うんだぜ」と

博識ぶるおじさん、ちょっとセクハラ気味。

艶やかに微笑んで「あらわたし処女じゃありませんことよ」と若い女性。

おじさん、返す言葉もなく「・・・」

:

妊娠

早めに仕事を切りあげてアパートへ帰ると、

救急車がサイレンを鳴らして去っていく。

隣のおばさん「あなたとこのおヨメさんよ、近くの救急行ったから！」

「ええっ？」急ぎ駆けつけるとすでに出産。

スレンダーな体型のままだったから、お互い妊娠に気づきもせず、

母子手帳すら持っていない。 #twnovel

:

犬と散歩

...おじいちゃん、一人で犬の散歩に行かせたって!?

呆けが始まっているのよ、迷ったらどうするの! (母)

...大丈夫、犬が帰り道おぼえているから。(娘)

...それもそうね。

...Bow～♪♫♫♫

...あら、帰ってきたみたい。 #twnovel

おじいちゃんは犬とはぐれて、一人さ迷っていた。

:

朝のダイニング

リストラの憂き目に遭った父はしんみりと、

道ならぬ恋の予感に母はほっこりと、

昨夜のバトルを反芻して長女はしっとりと濡れていた。

・・・ってなにに、なによ?とヤジウマな弟はにんまりと。

冬の朝のダイニング、香りたつコーヒー。 #twnovel

:

種もみ

縄文末期、孫部落ではネットオークションが盛んに行われていた。

この頃のメダマは何とんでも『ブランド種籾(たねもみ)』。

“コシヒカリ”“ヤマダニシキ”が人気の中心だったと、

のちの時代の竹簡（ちくかん）に。

落札手数料が収穫の8.64%だったから、消費税込みだったのか。 #twnovel

なんだって？もうすぐ8.80%になるってか！

Photoはネットから無断転載。不可の場合は一報を。



出会い茶屋にて

ところが問題は、夫婦ってえのは“一対一関係”で、

第三者とはセックスできないという基本。

こりゃああくまでも基本ですがね奥さん、

ちょっと試してみちゃどう、アタシと、その、なにをさ。 #twonovel

半刻ほどのち出会い茶屋の一室から

「ふんっ役立たずのこんこんちきめ！」と女の罵る声がした。

:

Not Guilty !

この裁判の場合は実に変わっていた。

検察官のヒタイから左ホホにかけて長い向こうキズ、

地黒の三白眼、長いもみあげ、だみ声。

方や被告は長髪の好青年、伏し目がち、ていねいだが木訥な語り口。

これじゃまるで冤罪裁判、

陪審員のジャッジは、全員『Not Guilty !』 #twonovel

:

モニター

昼盛り、夫のいぬ間にシリコン製の肉襦袢を脱いでいる妻。

キン！と冷やしたビール、胡座をかいて飲み干す爽快さ。

喉が鳴りますわ、ごくごっくん。

やだワタシ、

この惑星に来てからドランカーになっちゃったみたい、うふっ。

午後のドラマはなにかしら、地球をモニターしなくっちゃね。 #twonovel

：

煙草と悪魔とパンと

芥川龍之介の短編『煙草と悪魔』では、

日本にタバコを広めたのは宣教師になりすました悪魔。

さらに戦後、日本の学童たちにパンの味を覚えさせたのは、

米国農家の皮をまとったマッカーサーということになっている。 #twonovel

：

I shall revive

米口中が三つ巴の世界大戦中の異空間。

歴史的には余談だが、ロシア軍から敗走中のマッカーサー元帥、

フィリピンで底なし沼に足を踏み入れて溺死。

最後の絶叫「I shall revive！」がジャングルに響いた。 #twonovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



美女キャロット

ひとり者のオトコが買ってきた風俗雑誌に、袋とじ付録『美女キャロット』が。

一本の“乾燥人参”と、「たっぷりのお湯でお戻してください」の説明書きが。

人参には手や足、さらに頭部らしい凹凸が。

バスタブに浸してひと晩・・・。

次の朝キッチンから若い女性の「アナタゴハンヨ～」のカタコトが。

「おお～♪」 #twnovel

:

深夜食堂

深夜食堂で『不倫どんぶり』くださいな！と女性の声。

そっと振り向くとひそやかな熟年カップル。

やがて、先ほど注文した『密通どんぶり』が私たちのテーブルに運ばれてきた。

怪しげなオーダーが行き交う場末の食堂。

おススメは『夫婦（めおと）どんぶり』だとか。

・・・裏メニューだけだね。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



思い出・動・画

結納の儀。厳かな雰囲気の中、

緊張気味な彼の父「こ、これより、納棺の儀を」

言い間違えてしまった！よりによって。一瞬フリーズする列席の人たち。

すぐさま陽気な私の父が「どっちも似たようなものですわ」と、

豪快に笑ってフォロー。 #twnovel

私たちの生涯一番の、宝物のような思い出がスマホ動画に収められた。

：

夢の話は

夢をみた、夢のなかで。いい夢だったわ！と余韻に浸（ひた）っている朝。

目を醒ましてもその夢、覚えていてね、と夢のなかの私に云っていた。

しかしベッドから起きあがると、夢をみていたことも忘れていたワタシ。

・・・だって夢だもの、夢なのよ。 #twnovel

：

母の手旗信号

高台の病院、窓ぎわのベッドから見えるボクの家。

毎朝決まって物干し台からお母さんが手旗信号を送ってくれるんだ、

「ガ・ン・バ・レ」って。

いよいよ退院の日、迎えに来たのはお父さんだけ!?

お母さんは仏壇の写真立ての中で微笑んでいた。

一緒に遭った電車事故から数週間が。 #twnovel

#twnovel=Twitter Novel (140字・小・説)*

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ご承知おじさん



ご承知おじさん

いつも「ご承知のように」と朝礼を始める営業部長。

いつしか『ご承知部長』のあだ名を拝されていた。

ある朝の話が、俄（にわか）には信じられない内容だったので、

直（じか）に真偽（しんぎ）を確かめてみた。すると事もなげに、

「あれ、口から出任せ。初めに“ご承知の”って云うと、

訊き返してくる人、まずいないからさ」と。

・・・詐話師みたいなおじさんだった。 #twnovel

:

ながら運転

3車線の高速道路のまん中を100キロ制限にかかわらず、

のろのろと走行する軽トラック。

その両側を他のクルマが次々と追い越していく。

追い抜きざまに覗くと、

足でハンドル操作しながら、手に漫画本を持って読んでいる若いオトコ。

コミック好きもここまでくると“犯罪行為”だ。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

四角い顔の犬



四角い顔のイヌ

地方の広告代理店に勤務して10年を垂（な）んなんとするオトコ。

年末はいつものように、12月末から1月初めの約一週間程度のマス広告、

さらにチラシ制作と折り込み手配、その他諸作業をしなければいけない。

だから毎晩のように残業が続き、この日も日付が変わろうかという時間に、

ようやく仕事が一段落、クルマで家路に向かっていた。

自宅近くの住宅地の四つ辻に差しかけたとき、

左折しようとするクルマの前をヨロヨロとノラ犬が横切った。

「危ねえイヌだな、ノラか!？」と呟いたオトコ、

ライトに照らされた犬の顔を見てビックリ、魂消（たまげ）た！

なんとも異様で奇妙奇天烈な様相。

毛足の長いたれ耳の顔、アタマや目鼻口が四角く無理矢理に圧縮されて、

クシャッと拉（ひしゃ）げた窮屈なルックス、

しかも頭部がふらふら揺れて、テカテカと光っている！

(オトコは、クルマの前照灯にポリ容器が反射していたと、あとで気づいた)

帰宅するなりツマさんに(小学生の娘はもう寝ていた)

「お、おい、シカクい顔の犬が歩いとった、シカクいんやぞ、

ほんまにほんまや！」と、息せき切って報告したが、

「あ、そうな」と、夕食の拵(こしら)えに忙しくとりつくシマもない。

オトコは食事中もブツブツと、ツマさんに一人言のように訴えて、

なかなか昂奮が冷めない様子。

：

時間は少しさかのぼって、その日のまだ宵の口。

住宅地に隣接する

小さな商店街ハズレの立ち飲み屋は、すでに客がたて込んでいた。

店に出入りしている毛長なノラ犬が、

土間に積み重ねていた、カラになったお摘みスルメの徳用プラ角容器に、

いつものように首を突っ込んで珍味カスを漁っていた。

ところが何の拍子でか、広口部分にねじれた耳が引っかかって、

プラ容器から抜けなくなってしまった。

かなりの間、店の隅で頭を振り回して懸命に外そうとしていたが、

やがてあきらめて、

そのままの恰好で立ち飲み屋を後にして、ひと晩中近所をうろついていた。

しばらく経って、プラ容器のなかで窮屈に収まったノラ犬の顔が、

前述のオトコが運転するクルマのライトに照らし出されたという訳だ。

ひと晩中、界隈を歩き回っていたので他にも大勢の目撃者がいた。

翌（あく）る朝には話に尾ヒレが付いて、

「ハクビシンとタヌキの異種交合、いや突然変異？」とか

「怨霊に憑依された物体X*じゃないのか!？」

「サッ処分されたノラ犬のタタリじゃね？」などと。

近所はもとより、隣り町でも大騒ぎになっていた。

さらに午後に入ってから、

ツイッターによって急速に拡散された情報を聞きつけた

地元テレビやラジオ、さらにネットテレビ、新聞社、タウン誌までが

2～3人程度のクルーを組んで取材にやってきた。

“幽霊の正体見たり枯れ尾花”とはこのこと。

大人しく捕獲されて被（かぶ）りものをはずれたノラ犬は、

さっさと駆け足でいずこかへと去っていった。

：

という数年前の『シカくい顔のイヌ』さわぎを思いだしていた。

ちょうどいまと同じ師走のこと、

先ほどからちいさな雪粒が静かに降りつづけている。

「火の用心」の、小さいがよく響く掛け声と、歯切れいい拍子木の音、

寂しげなノラ犬の遠吠えが寒風にのって流れてくる。

・ ・

物体X* = 犬にエイリアン（地球外生命体）が取り憑く映画

四角い顔の犬 実話

<https://blogs.yahoo.co.jp/axros03/folder/1046439.html?>

[m=lc&sv=%BB%CD%B3%D1%A4%A4%B4%E9%A4%CE%B8%A4&sk=0](https://blogs.yahoo.co.jp/axros03/folder/1046439.html?m=lc&sv=%BB%CD%B3%D1%A4%A4%B4%E9%A4%CE%B8%A4&sk=0)

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



食堂コウノトリ

町の小さな食堂、若い夫婦が切り盛りしている。

産直野菜を料理した小皿や、

自家製漬けもの、具たくさんなみそ汁がオイシイと評判。

この日も同僚と連れだって昼ご飯に行ったが、

いきなり表に“かわいい”貼り紙が・・・なに、お休みってか？

そっか、奥さんのおなか、大きかったっけな。

おめでとう！の言葉より先に、ワタシのおなかが鳴った。 #twnovel

：
孫3号

...孫が仰山できて名前憶えにくいから、

“号表示”してるんや、孫2号とか5号とか。

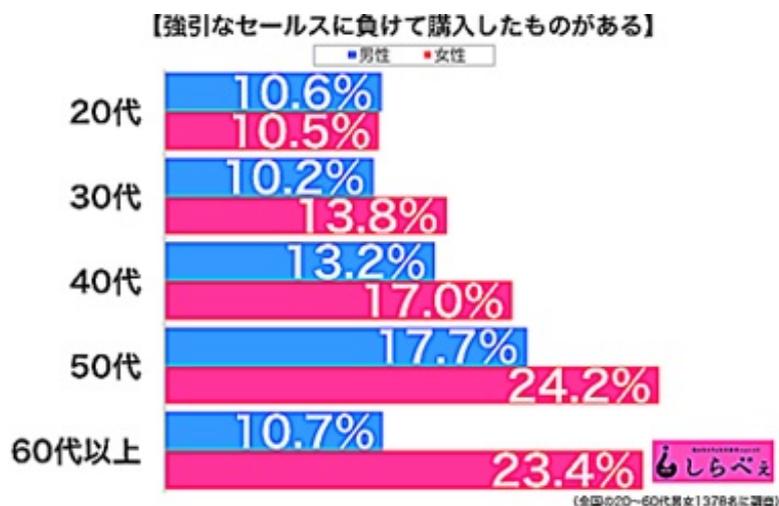
...じいじ、あたしは何号？

...おお、お前は3号やないか、孫3号、

下の名前・・・なにいうたかの？

...ぺしっ！（怒） #twnovel

詐欺マン



詐欺マン

資産家のお婆ちゃんが、

手練れのセールスマンから高価な羽毛布団を買わされた。

これが不幸の始まり、

次々と同業者にリレーされ・・・貯蓄を吸い取られ、屋敷もなくして、

ついに裏だなのアパート住まい、しかも痴ほう手前に。

これって犯罪にならないんだな。

そんな輩（やから）はどこにでも、ほらあの男も。 #ツイノベ

:

副業時代

法律でアルバイトがOKになったからいうて、仕事場に屋台ひいて来たの誰や！

ここは市役所の戸籍課、それも受け付けやど。

おい！あっちでは女子職員が客引きしてるやないか、

ああ応接室に連れ込んでもうたわ！ #ツイノベ

:

ワニ温泉

川ノ辺温泉近くで立てつづけに失踪人。

愛犬と川べりを散歩中、いずれも忽然と姿を消したのだ。

まさか人喰いワニでは？と冗談を言い合っていたが、

温泉の排水が流れ込む一帯は水温が高く、そのまさかが起きていた。

捕獲したワニの胃袋から変色した入れ歯や犬の首輪が出てきて、

解剖医も慄然！ #ツイノベ

#ツイノベ≒140文字物語

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



ある朝の姉弟

ジャーン！ジャーン！「うるせえこのやろめ！」

止めても止めても、何秒か後にけたたましく鳴り出す目覚まし時計と、

毎朝格闘をしている弟の傍らで、

きょうも早起きをして授業の予習をする姉。

「またやってるわね、そうだ♪」

姉はこの朝、目覚まし時計を

弟の手の届かない所へ移動させるという“いたずら”を思いつく。

ジャーン！鳴り始めた目覚まし時計を止めようと手を伸ばす弟、

「あれ、どこいったよ、ない!？」

フンを背負ったまま這って忌まわしい音を追いかける弟、

さらにその手の先へ目覚まし時計を持っていく姉。

つい、いたずらに夢中になった姉、しつこく起きない弟、

とうとう二人そろって学校を遅刻してしまった。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



蜜の味

夫に誘われて久しぶりに行きつけの自然食レストラン、

焼きたてのパンがお代わり自由の店だ。

席につくとまずテーブルに『ハチミツ』が置かれた、フリーだった。

「ハチミツがとっても好きなの、わたし！」

いままでなかったサービスに顔をほころばせる妻。

さっそく天然酵母パンに付けていただく。

「美味しいわ、あなたもどう？」「いや、ボ、ボクはいいよ」と、くちごもる夫。

「変ね、いつもはたっぷりとパンにつけてらっしゃるのに」

しかしそのあと、口中に広がる花畑の甘味に苦みが混ざり始めて鼻孔を突く。

「妙なお味、これは何の花の蜜なのかしら？」と

若いウェイトレスに訊ねるが「蜂蜜ですわ、奥さま」と小さく笑って答える。

「あ、莫迦にされたみたい」と、苛立ちの表情を見せる妻。

「そうじゃなくって、何の花の蜜なのかご存じかしら、ってこと！」

失言を察したウェイトレス、あわてて厨房へ走った。

ほどなくして席に戻ってきて、

「なんでもキンポウゲ科の野草で、珍しいハチミツだとシェフがいておりました」

「で、お花の名前はなんというの?」「ハナトリカブトです」「え!？」

コップの水をおかわりしているが、口の中から食道にかけて焼けるように熱く、

舌先の痺（しび）れがますます酷くなる。

夫の目が鋭く妻の様子を観察していた。#twnovel mini

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



出戻り夏☀の≡140字物語 (2018.8.27 猛暑ぶり返す)

:

時代小説風

「ご内儀は健勝でおいでか」「ああ、丈夫が取り柄ゆえ」

「それは重畳(ちょうじょう)*」

三ヵ月振りに訪ねてきた知己と一刻(2時間)ほど歓談したあと、

別れぎわの遣り取りだった。

雑木林に続く田圃をぬける一本道、遠くに知己の姿を見送りながら、

ぼそっと独りごち。

「縁の下で気持ちよう眠っておるわさ」 #twnovel *大変喜ばしいこと

:

江戸の火事

江戸は火事が多かった。

火を出した商家も慣れたもので、手伝いの男衆に振る舞い酒。

これが【駆けつけ三杯】の語源だって。

酒につられて駆けつける猛者もいて、

火事場で酔っ払ってもいいジャン、ジャンジャン！

おい半鐘だ、また火事だよ～♪♪

火事は庶民のイベントでもあったのだ。 #twnovel

：

法事

88歳で亡くなったお爺ちゃんの七回忌法要で施主のお父さん、

親戚の人たちを前に

「2年後は母（お婆ちゃん）の七回忌を迎えますが、

それまでに列席の方たちが生きておりますか、心配です」と、

名調子の挨拶。

身じろぎ一つせず聴いているご老人たち、推定90歳前後。 #twnovel

：

がまぐち財布

その昔、曾婆ちゃんが亡くなったとき、

患い蒲団に忍（しの）べていた `がま口財布、。

一厘一銭の時代、畳んだしわくちの少額紙幣と数枚の銅貨（あかがね）、

一枚の5銭銀貨が全財産だった。

・・・という話を婆ちゃんに聞いたことがある。

錫貨（しゃくか）*はまだまだあとの時代。 *アルミ貨 #twnovel

：

煙草の葉

大昔の農村や山村では密造酒（どぶろく）づくりは当たり前、

煙草（たばこ）も自家栽培でと、

畑にたばこを3～4苗、こっそりと植えていた。

ほどよく葉を広げたある日、

村の駐在さんが警官や私服刑事を連れてわらわらとやって来た。

曾爺さん、その時、しょんべんをちびるほどびびった。 #twnovel

なぜなら、闇たばこづくりは、罰金5万円、懲役3年の重罪だと。

：

豆

余談ですが、先ほど（というか3年前）こんな可愛いTweetを採取・・・。

息子（5ヵ月）のことを、小さく丸くかわいらしい風貌から、

愛を込めて『豆』と呼んでいます。

一昨日、抱っこ紐で散歩中にいきなり雨が降ってきて、大あわて！

「発芽するよ～っ！！」と叫びながら帰りました。 #twnovel

：

恋遊戯の果て

彼女の秘密の呪文は『大好き嫌い♡』。

好き嫌い、どっちなの？とボーイフレンドたちを惑乱させたが、

その様子を眺めて愉しむのが趣味だった。

しかしオトコが現れて状況は一変、彼女が一目惚れしてしまった。

呪文が片想いの言葉「大好き好き♡」に。

オトコは彼女に声をかけることなく去っていった。 #twnovel

：
#twnovel=Twitter Novel=（≒140字物語）=#ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



法悦

...んで、雅号、何言うんや。

...法悦や、法律の法に、悦の司*の悦て書くぞ。

...うわあ、

エロ坊主が奥女中に「法悦至極じゃ」*とかいうて、

戯れる、あの法悦か？

...きちんと由緒ある名前じゃ、あほ。 #ツイノベ #twnovel #140字小説 #小話

* よろこびのつかさ * 東映時代劇の感化

Photoはネットから無断転載。不可の場合は一報を。



似顔絵

メジャー誌主催の `似顔絵コンクール、に応募した。

ユニークな描写に審査員たちの注目が集まった。

作品裏に記載していたメアドに質問が届いた。

「素晴らしい表現ですが、誰をカリカチュアライズ*されたのですか？」

「ワタシの顔ですが・・・!？」

翌日、作品が返送されてきた。 #twnovel

*カリカチュアライズ=人や事物の欠点や弱点などをおもしろおかしく誇張、単純化して、風刺的に似顔絵とすること。

：
すごろく

中央線に双六（すごろく）線が乗り入れ、

各駅ごとに車掌がサイコロを振ってコースの指令。

おい、ここまで来て3駅も下がるのかい！と、

客席から悲鳴とも似つかぬ声が聞こえてきた。 #twnovel

：
花と蜜蜂 by美沙都

テーブルに蜂蜜が置かれている、フリーだ。

パンに付けていただく。

「おいしいわ！」口に広がる花畑のかおりと濃密な甘味。

「これは何の蜜？」と若いウェ이터に尋ねると、

「蜂蜜です」と笑って答えた。

・・・あ、莫迦にされたみたいだわ。

「でなくて、何の花の蜜なんですか！」

失言に気づいたウェ이터、あわてて厨房へ走った。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



問題点

飲むと透明人間になれるが、

透明であるためには素っ裸でいなければならない・・・それが問題だ。

キキーッ！ドンッ！

「なんかはね飛ばしたみたいだけど、おかしいな、まっいいか！」

タクシーは去っていった。透明人間は、

真冬の道路端で一糸まとわず激しい痛さに喘いでいた。 #twnovel

：

包茎

透明人間になって街をうろついていると、

信号無視の車にはねられて路上に投げ出された。

やがて透明クスリが切れ始めて公衆の面前に裸のカラダが・・・。

薄れゆく意識の中で「い、いかん、包茎治しとくんだった！」 #twnovel

：

スタア

誰にも見えないことをいいことに、透明人間になって楽しんでた。

ところがある日、透明薬が切れるころになっても元の姿に戻らなくなった。

さあ困った、カラダに包帯を巻いて済ませられることじゃないよ、

私の職業は『スタア』、顔が見えなきゃ・・・おおどうする!? #twonovel

:

使い途

透明人間になって街にでたが、ウィークエンドで混雑している。

前からうしろから通行人がぶつかってくる。

店の軒下に避難していると、ワンちゃんにしっこをかけられた。

公園ではフリスビーに直撃されて、もう大変だ。

透明クスリ、いい使い途ないの？

・・・覗きも飽きたしなあ。 #twonovel

:

金具

透明人間になって花見へ。桜の下では宴会のまっ最中、

横からこっそりつまみ食い、盗み酒・・・すっかり酩酊、芝生で寝てしまった。

目覚めると頭上が騒がしい。「なんだい、これ?」「妙な金具が浮いてるよ!」

しまった!骨折手術で入れた金属プレート、まだ抜いていなかった。 #twonovel

再・推敲 #twonovel=Twitter Novel=(≡140字物語)=#ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



ヒネ小姓

臺（とう）の立った“ヒネ小姓”、

またの名を瘦せっぼの“にいにい茶坊主”。

・・・強きには甘え声、時には涙まじりですり寄り、

弱きには矢鱈（やたら）執拗にくちうるさく、貧相顔で追い詰める。

その詰め方を表現して『にいにい』と言うのだが。

はて、これどこの言葉だっけ!?!と調べると、

まるで関わりのない新居浜（愛媛県）の方言だったという、

意外な答えに！ [#twnovel](#)

：

余談)

ヒネ小姓、広く知られたあだ名をピーマン某（なにがし）、いま考えると付け方が辛辣（しんらつ）だね！付けたのワタシじゃないけど・・・やせ細った風体（ふうてい）は、ヒネた*シシトウそのものだったが。

* 萎びた

僅か16年の悪い夢



僅か16年の悪い夢

順風満帆かと思われた会社だが、

ウォール街に端を発した世界恐慌（1929年）の煽りを受けて

あすには倒産かとおののいていると、

所有地の山林から天然温泉が噴き出して、起死回生の吉報じゃ！と

狂喜したのも束の間、

帝国陸軍の阿呆どもが盧溝橋事件をでっち上げて支那軍と交戦、

もうすぐ日支事変に突入しそうだとの凶報。

とその時、戦争準備に入った日本軍から乾パンを一手に受注して、

その年の内に業績5000倍、やれやれこれで安泰と思われた5年後の師走間近、

ドーリットルによるB25爆撃機編隊の本土初空襲。

続くミッドウェイ海戦（1942年）での大敗で帝国海軍は・・・。

大本営発表の嘘八百を知っていたワタシは、日本の敗戦を確信。

会社を畳んで故郷へ疎開、

すべての蓄財を貴金属に換えて敷地内の土蔵に隠匿してまぢか、

新型爆弾が頭上で真っ白に炸裂！という夢を見た。

その夢の中ではすべてが塵芥（ちりあくた）と燃えさかって溶解、

阿鼻叫喚の地獄図絵と化していた。

吹き出る寝汗と喉の渴き、茫洋とした意識で思考は混沌。

ようやくあけたカーテンの外は眩（まばゆ）い夏盛りの朝景色、

ますます増していく暑さを喜ぶように蝉時雨が喧（かまびす）しい。

もしや！・・・と見上げた日捲りカレンダーは八月六日（1945年）。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



ドクターストップ

定年退職してますます意気盛んなM某氏。

愛犬を連れて近くの山まで片道60分の散歩。

ほどなくしてドクターストップがかかった。

ヒザを痛めたのだ。 #twnovel

M某氏の傍らで申し訳なさそうな顔つきの愛犬、

そのヒザには包帯が。

:

モテ期

表で立ち話の奥さん。「ワタシ若いとき、とってキレイだったのよ」

「お肌だってぷるんぷるん、そりゃもてたわ！」

サイフから色あせた写真を出して

「これがその時のよ、懐かしいわ、この若さが」 #twnovel

「・・・あ、あかちゃん!？」 「この頃がモテ期ピークだったの！」

：
お返し

タケノコをたくさん掘ってきたので、お隣へお裾分けに行った。

翌朝「おいしかったわ、また頂戴ね〜♪」と、

大きなレジ袋を提げてやって来た。 #twnovel

袋にはタケノコの皮が一杯詰まっていた。

・・・え!?

：
ニョウボ

庭の柿も食べごろ、ある農家の寝屋から夫婦の会話が聞こえてくる。

「ねえあんた」「なんだいまえ」

「いつまで私のことをニョウボだと思っているの？」

「えっ!?! だっておまえはオレの」「ぐるるっ」

「ななにすんだ!」「ぐへへっ」「やめてけれ〜!」

こうしてまた一人、村人が嫁に喰われた。 #twnovel

：
モンタージュ

目撃者の証言から、

160㌢足らずのチビでデブ、禿げで出っ歯、タレ目にメガネの

ぶさいくな顔立ちのモンタージュ画像がつけられた。 #twnovel

「似とらんっ！」と、犯人が警察署へ抗議にやってきた。

：

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel= (≒ 140字物語) =#ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合は一報を。

突沸



突沸

スピッツと擲揄（やゆ）される男、

辺り構わず疝高（かんだか）く吠えついて、やたら喧（やか）しい。

人はその様子を「冴えあがり！」とひと言。

ウィキペディアには、誰が書き込んだか

「アンストッパブルな精神の浮揚」と記述されているが、

意識裡で脳が突沸（とっぷつ）するのだから本人にも止められない。

これ、幼児心理学で「舞いあがり」という、心の病である。 [#twnovel](#)

* 別名 `あんぽんたん、とも蔑称される。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



白いタオル

遺体の顔にかける白いハンカチ、そのスジでは『顔伏せ』と言うのだと。

ひよっと息を吹き返すこともあるので、視認のためでもあるとか。

近ごろ日の出が早いので眠りが浅くなりがち、

時々ハンドタオルなどをアイマスク代わりに掛けている。

そんな時いつも思うのだ、それを。 #twnovel

:

初登校日

初登校日。真新しいランドセルを揺らしながら、川向こうの小学校まで駈けた。

シーンと薄暗い校内・・・とその時、用務員室の茂みが揺れた。

わわっ！きびすを返して今来た田舎道を。

はよからどこ行っと思ったんで？とおばあちゃん。 #twnovel

土間の柱時計が鳴った、幾つ鳴った？

:

タタリ*

たんぼ道でいたずらっ子が、カエルを捕まえて遊んでいた。

お尻にストローを突っ込んで膨らませたり・・・見てられない。

あくる朝の登校時、誘いに寄ると

「熱を出して寝込んでいるのよ」と心配そうなお母さん。

部屋に見舞うと、汗にぬれた顔をミドリ色にして喘いでいた。 #twnovel

* 原案 : momoiro milk

:

推敲再掲

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



アイデンティティ

しゃんぽにつれてけにゃあ、にゃあおおん！

庭で放し飼いにされているワンちゃん、

いまだかつて一度も散歩に連れて行って貰ってないものだから、

犬のアイデンティティを見失ってしまった。

ウォンともキャインとも吠えないのだ。 #twnovel

：

ひょうたん島

ベトナムに属する「ひょうたん島」は、陸の根を持たない漂流島。

ここ数年、近隣国が領有を主張。特に中国は南海艦隊を派遣して島を牽引。

負けるな！と他国も艦船を動員して引っ張り合いを始めた。 #twnovel

ジグザグと迷走する島の様子は後年、

水上人形劇として上演されてベトナム観光の目玉に。

：

台風見物

台風接近のニュースに落ちつかない家族。

午後、ボックスカーにキャンプセットを積み込んで、岬の先端を目指す。

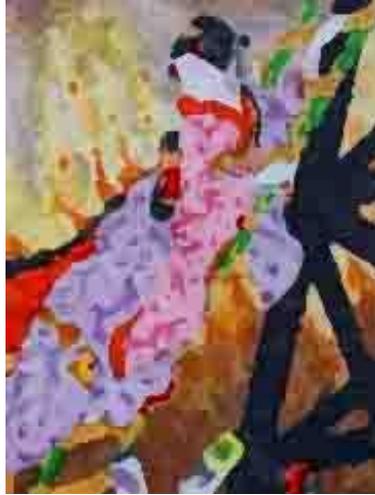
スキヤキをかこんで台風見学をするのだ。 #twnovel

そんな人たちが車列をなす崖っぷち、テレビクルーもやってきた。

：

推敲再掲

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



誤変換

夫のパソコンでクラス会のDMを作り始めた。

書き出しはまず『緊縛した世界情勢』

『大いに遺棄を上げて、楽しい集いに死体ですね』

なんだか変換がおかしいわ。

その時TVから「遺棄された緊縛女性の死体発見」と地元ニュース。

「この近くだわ！」 #twnovel

その時玄関チャイムが鳴った、夫の帰宅だ。

:

八百屋お七

天和2年。フランベした鴨肉から立ちのぼった炎が、

払ったお七の着物の袖から燃え移り、あっという間に八百屋は火の海。

階上は138階の超高層長屋。すべてを燃えつくすまで、あと2時間45分。

後世の人はこの火災を

「タワーリング・インフェルノ」として映画化した。 #twnovel

:

菌の味

おうちのご主人さま、この女性とキスしそうだぞ。

楽しみだな、どんな菌に出逢えるかな、それやれっ！

・・・やがてディープな口づけ、絡み合う舌、

唾液と一緒に何億もの菌が混じり合い、

得も言われぬ芳香を放ち始めた。 #twnovel

人間を生かしているのは多分、菌だ。

:

推敲再掲

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



アナグラム

EARTH（地球）を眺めてアナグラムを愉しんでいた神さま。THEATER、THE EAR・・・「うまくできない！」とEARTHの5文字を放り投げてしまった。神さまの思念から外れた地球は、宇宙の藻くずに。

カラダを持たない神さまにはHEART（心臓）のスペルが思い浮かばなかったのだ。

#twnovel

:

工事中

作業員が頭を下げている工事中の看板を見た奥さんたち、顔をしかめてひそひそ話。「嫌ね、最初っから頭下げて、また何かやる気だわ」「先だっては水道管ぶち破ったし」「ガス管だと怖いわあ」 #ツイノベ

通りの向こうで、ミニシャベルが今掘った穴に落ち込んであえいでいた。

:

ねこ

ここ数日『ねこの本』を読んでいたの、猫が一杯でてくる夢を見たらしい。みゃあみゃあと鳴いてすり寄り、ごろごろとノドを鳴らしながら眼を細める・・・日なたの縁側で毛並みとりどりの数匹が、気ままに戯れている夢だったが、よく思い出せない。

もう一度夢の中へ入って遊んでこなくっちゃ。 #twnovel

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

* 推敲再掲載など * #twonovel = #ツイノベ = #Twitter Novel = #ツイッター小説 = #
ツイッター小話 = (#≒140字物語)



303便

忽然と消えた中国南方航空303便、搜索むなしく1ヵ月。

飛行場外れの格納庫がさわがしかった。「いつになったら飛ぶの!」「何か食わせろよ!」と、303便の搭乗客。離陸待機で格納庫に誘導されたまま忘れられていた。

・・・すでに機内に食糧もなく。 #twonovel

:

カラオケ

読んでいるのか唸っているのか、あいつのカラオケはまるで念仏だよ、お経だね!と耳を覆うギャラリーを前に延々とマイメドレーを歌い倒すオトコ。

だれかが`般若心経、を割込予約した。 #ツイノベ

:

新聞小説

ほとんど読まない新聞小説に眼を惹かれた。冒頭いきなり、抱き寄せる。あとは斜め読み、愛撫、股間、挿入、お臀・・・次々とフォーカスにヒット。これって卑猥小説か、朝刊だぜ。さらにエスカレート、秘所はさらに潤いを、と締めフレーズ。

明日はどうなっちゃうの? #ツイッター小説

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

* 推敲再掲載など * #twonovel = #ツイノベ = #Twitter Novel = #ツイッター小説 = #

ツイッター小話 = (#≡140字物語)



おでん

お隣の奥さまに、

ウェッジウッドのお鍋一杯におでん戴きましたのよ。

でね、お鍋にメイプルリーフ金貨を詰めてお返しいたしましたわ。

ハイソな家柄ですもの、

コモンセンスというかハビットですよ、ほっほほほ～☀️🎵

世界一お高いおでんですわよ、わたし自慢したくって！ #ツイノベ

:

変態

きゃっ変態！と、妻が台所で叫んだ。オレの事じゃなかった、

流し台の隅っこで、

いままさに蛹（サナギ）からハエが這い出そうとしていたのだ。

なるほど、変態だ。 #twnovel

:

断末魔の視界

「キミの美しさが衰えていくの、見たくないから別れよう。

これがぼくの思いやりだ」「そんなの許さないわ！」 #twnovel

ブッスリ！（出刃を刺す）ドバアッ！（大静脈から噴き出す血）

断末魔のオトコを見下ろす、とても美人とは言えないオンナ。

：

母子手帳

早めに仕事を終えてアパートに帰ると、

救急車がサイレンを鳴らして遠ざかっていく。

隣のおばさん

「あなたとこの奥さんよ、近くの救急行ったから！」「ええっ！」

急ぎ駆けつけるとすで出産!?

妻はスレンダー体型、つわりもなく、誰も妊娠に気づきもせず、

母子手帳すら持っていない。 #twnovel

：

赤ずきんちゃん

朝帰りのムスメに。

「ママが心配してるぞ！」「パパはどう、私のこと心配!？」

「そりゃパパだって心配さ、食べたいぐらい、ぐふふぷっ！」

「わっ、長く裂けた口からヨダレが！」

パパはこの朝、ムスメに撲殺されましたとき。

赤ずきんちゃん怖い！ #ツイノベ

* 推敲再掲載など * #twonovel = #ツイノベ = #Twitter Novel = #ツイッター小説 = #ツイッター小説 = (#≒140字物語)

Photoはネットから無断転載。不可の場合は一報を。

お見合いトランプ



お見合いトランプ

新入社員だったころね。

部長に呼びだされて、ババ抜きのトランプみたいに

「この写真の中から一枚引いてごらん」と言われたの。

一枚引くと同じ会社の男性でしたの。

部長は「キマリだね〜♪」と喜んでいました。

それが現在の夫です。うふっ。

お見合いトランプだったのよ。 #twnovel

:

ところがこのツイノベには縦糸と緯糸があって、

縦糸は女性社員が隣の課の男性に好かれていて、

彼女も悪く思っていない、といった設定。

横糸は、女性は部長の親友の娘でそれとなく後見を頼まれていた。

さらに言えば `写真トランプ` はすべて彼の写真だった、のオチ。

となると配役は、部長に北竜二か中村伸郎、男性に佐田啓二、

女性に岩下志麻が思い浮かぶ。当然監督・脚本は小津安二郎か。

これって、邦画『秋刀魚の味』（1962）のキャスティング、小津ワールドだ。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ありがとう



ありがとう

乞食が座っていた。空き缶にコインを一枚投げ入れると、`施しの音、がした。「ありがとうございます」と乞食。いい気分になって立ち去ろうとすると、一喝された。「キミも私に礼を言わんか！」 #twonovel

なるほど、私をいい気分にしたくれた彼にも、感謝の気持ちを表さなければ。

:

念力航空

こんな鉄の塊が空を飛ぶわけがないと、考えてはいけない！といったマインドコントロールが乗客たちに30分ほどされる。これをクリアしないと搭乗できない。#ツイノベ
近未来の飛行機は念力で飛ぶように設計されていた。しかし本日もまた何機か墜落するだろう。

疑り深い人種だから、支那民族は。

:

四十九日

人は死ぬと*ゴクラク道四十九次の旅をする。宿場では湯地（ゆち）、美酒佳肴（かこう）のご接待。終点のゴクラクに到着すると若々しい躰（からだ）に還って、酒池肉林の宴が永劫（えいごう）繰り広げられる。#ツイノベ

だから誰一人として、*憂き世には帰ってこないのさ。

:

*極楽 *憂き世=つらい世

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

推敲・再掲 #twonovel=Twitter Novel= (≒ 140字物語) =#ツイノベ



五輪のひこうき雲

澄み切った青空に、ひこうき雲で五輪のマークを描こうと、

5機の日航エアバスA350のスタッフたちは、

いまから訓練に余念がない。 #twonovel

さて `五輪のひこうき雲、をあまねく見せるには、

一つの輪の直径を幾らにすればいいのか、知恵とデータを精査している。

高度3,300フィート（1万㍎）上空。

東京オリンピック開会は2020年7月まであと・・・。

* エンジンが4つあるエアバスからは4本の雲が出るが、左右2本ずつがまとまって2本しか出ていないように見える。したがってこのツイノベの場合、正確には二重線の五輪マークになる。（蛇足）

：
薩摩切子（さつまきりこ）

ちょっと行ってくるよ。すぐ帰って来てね。

ああ、晩酌は冷やがいいな。はいあなた。

・・・そして通夜、葬儀、初七日と仏事が続く。

「ちょっとでいいから飲んでくださいね、あなた」と老いた妻。

薩摩切子に注いだ冷酒が、お仏壇の灯明にほのゆらり。 #twnovel

:

海月なす漂える（くらげなすただよえる）

突如、日本の沿岸にクラゲが大量に繁殖。

さらに気象衛星から、ひと晩に列島が数センチ南下していることを知らせてきた。

クラゲたちが押していることは明白だった。

数日を待たず列島は、大陸棚から離れて太平洋へと漂い始めた。

・・・どこへ行くニッポン、ひょうたん島よ！ #twnovel

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel=（≒140字物語）=#ツイノベ
Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



アルホ

拙（せつ）の場合、アルコール依存症でなく、アルコール保存症と呼ぶべきかと。

カラダを、また脳味噌をもアルコール漬けにして後世に残そう、

という実験をしているのだ。酒に溺れているわけではない、決して。

ということで、今夜も甲種焼酎35°に人体を浸してみようぞ。 #twnovel

：
宴会

「え～、若輩モノですが」若いってこと自慢してんのかよ！

「え～、僭越（せんえつ）ですが」分かってんだったら引っ込め！

「え～、ではここで」そうだ乾杯だ！駆けつけ三杯だ！

祝賀パーティは最初っから荒れ模様。 #ツイノベ

：
サイ

紀元前49年、犀は投げられた！

ルビコン川に放り込まれた3トンはあろうかというスマトラサイ、

もんどり打って水面を蹴立てた。

ぶっほおーっ！鳴き声を合図にローマへの進軍が始まったという歴史秘話、

う、うそ。 #twnovel

：
お釣り

うどん屋さんで、かけ、ちくわ天、320円を、500円玉で支払った。

レジのおばさん「はい、お釣り180万円、数えてね」。

今ドキお寒いギャグ、と笑うと一万円札が180枚、釣り銭皿にばさばさっ！

・・・これ夢だよね!? #ツイノベ

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel=(≒140字物語)=#ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

裏メニュー



裏メニュー

深夜の食堂で「不倫どんぶり、下さい！」と女の声。

振り向くと熟年のカップル。そうこうしている内に、先ほど注文した

密通どんぶり、が私たちのテーブルに運ばれてきた。 #twnovel

怪しげなオーダーが行き交う食堂、

お薦めは裏メニューの不夫婦（めおと）どんぶり、だ。

：

エレベーター

「上へ参ります」「宜しくお願いします」

「ドアが閉まります」「何から何までご親切に、相済みません」

「3階です」

「降りますので、帰りの節もお願いしますね。じゃあまた」 #twnovel

エレベーターと話をしながらお婆ちゃん、3階の大浴場に着きました。

：

海亀と鷗

だから早い話が・・・で始まる彼の弁舌は紆余曲折に富んでいるが、

論旨不明瞭。

独りよがりなレトリックばかりで、興奮すると話がますます頓珍漢に。

けどいいじゃない、ここは絶海の小島、

聴いているのはウミガメとカモメぐらいだから。

できょうは漂着何日目？ #twonovel

:

悲惨な滑稽

お爺ちゃんが全身ガンで入院。医師と相談して告知しないことに。

翌月お父さんが手遅れの肝臓ガンに、本人には知らせず。

先日、私まで膵臓ガンに罹ったらしく。

カレンダーを眺めて家族それぞれが葬式の心配をしているという、

悲惨な滑稽（こっけい）。

その前に、お母さんが大動脈瘤ハレツで壮絶死。おお！ #ツイノベ

再・推敲 #twonovel=Twitter Novel=（≒140字物語）=#ツイノベ
Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



因果応賞

深夜、忘年会帰りのサラリーマンたちが、

酔った勢いで寄ってたかってマンホールのフタを外してしまった。

日付変わって早暁、国際空港へ急ぐパイロットが運転する乗用車の片輪が、

件（くだん）のマンホールにはまり込んで横転、パイロットが重傷を負った。

急ぎょ代替りのパイロットが招集されて乗り込んだが、

まだフライト経験が浅い新人、しかも慣れない新型ジャンボ機、

レバー操作を間違えて逆噴射、緊急不時着した場所が、

1952年以来南朝鮮に実効支配され続けている島根県竹島沖合、

本土から200キロ少々の海上だった。

:

SOS受信よりも先に監視衛星、自衛隊のレーダーが捕捉。

基地から、空母、ミサイル艦を含む一個艦隊の自衛艦、医療船、

海上保安艇、さらにマスコミがチャーターした大型ヘリや双発艇が大挙出動、

そのどさくさにまぎれて竹島に上陸。

突然のことに驚いた南朝鮮の監視兵たちは、

蜘蛛の子を散らすように島から逃げ出してしまった。

ジャンボ機救出、やがて竹島に翩翻（へんぽん）とひるがえる日章旗。

：

数日後、マンホールのフタを外した酔っ払いたちが特定された。

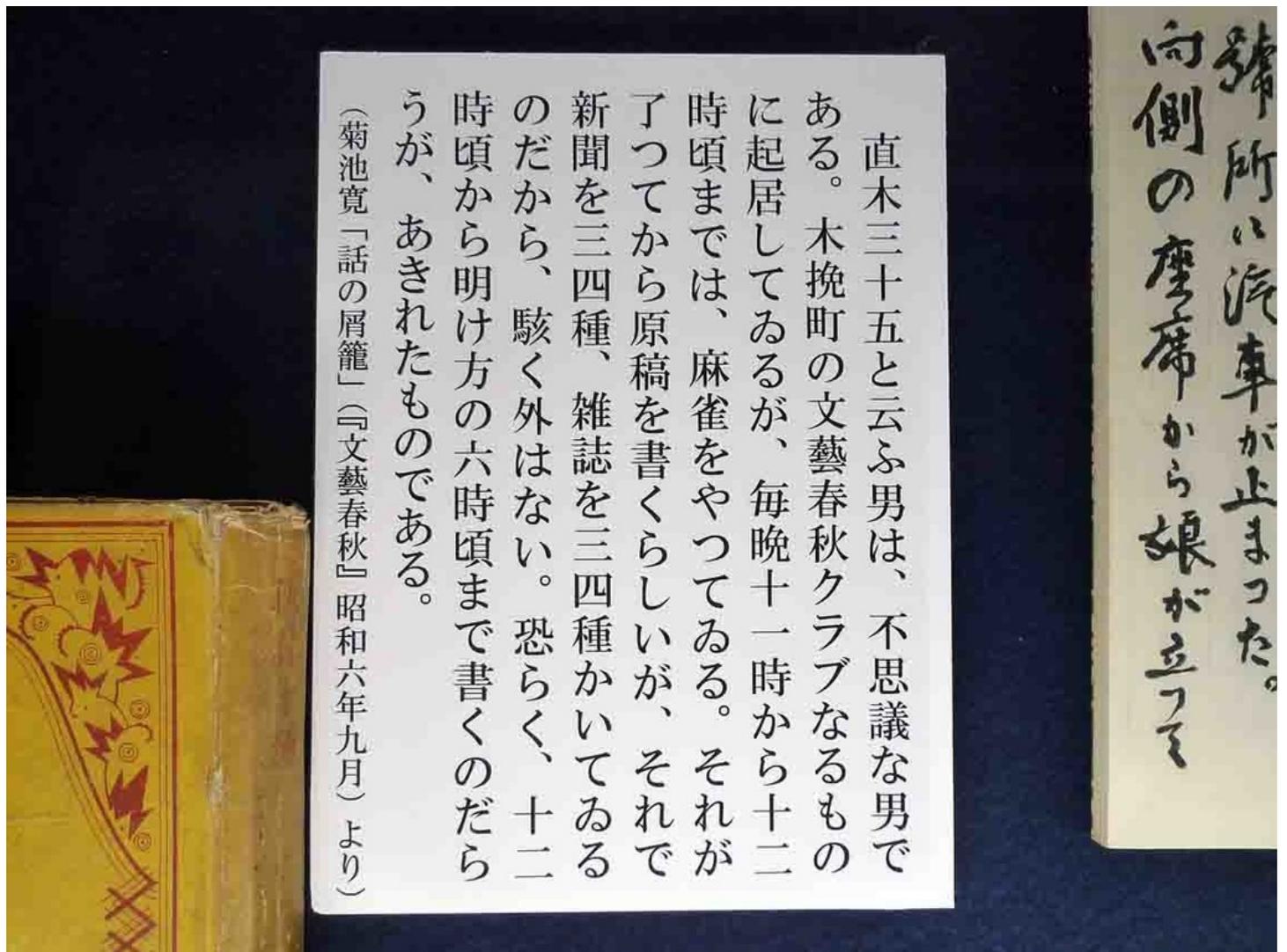
彼らが総理大臣表彰されたのは言うまでもない。

因果応賞というべきか人間万事塞翁が馬というべきか、さて。 #twnovel Short

という与太（ヨタ）話はいかが。

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel=（≒140字物語）=#ツイノベ etc

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



菊池寛と直木三十五と麻雀と

麻雀 (Mahjong) 知的ゲームで賭博性があり、しかも卓上の闘いに人間性がさらけ出される。ちょっとばかし怖い遊びなのだ。戦後、本格的に流行り始めた麻雀、最初に飛びついたのは大学生やサラリーマンだったが、またたくまに社会を席卷して一大ムーブメントを。麻雀が強い人、弱い人というヒエラルキー (階級) が暗黙裏に形成された、少なくとも感じていた。大正から昭和の同時期を生きた菊池寛*1と直木三十五、その関係は社主 (文藝春秋) と物書き (小説家) というもので、確固とした上下があったが麻雀では、さてどうだっただろう? という推測 (考察) *2 をもって書いたのがこのツイノベ (≒140字小説: 小話) だ。

*1 日本麻雀連盟の初代総長にして重鎮 (鈍重という意味もあり) と称されているが、麻雀が上手い訳ではない (と理由もなく確信している)。総裁は名誉職、よろこんで拝命する、と本人も述懐している。ちょっとおっちょこちょいなルックス (私だけの主観) の菊池寛は、明治21年 (1888)、香川県高松市生まれ、小説家、文藝春秋社を興している。同時期を生きた人に芥川龍之介、直木三十五など。

*2 麻雀のつよいオトコに畏怖の念を抱く。菊池と直木は麻雀 (賭け) をしていた、負けていたのは菊池だった。

:
Chapter①
直木賞

ロンだそれ、ダブル役満、天井なしで三十五万点だぜ! またかよ直木、おればっか狙い撃ちしてんじやないの? んなことねえよ菊池、てめえがヘタなだけだ、さあ精算しよか。ちょっと待て、

今度拵える文学賞の一つにお前さんの名前付けるからさ、それで麻雀の負けをキャラにしろよ、

直木賞だぜ、なあ。 #twnovel

:

Chapter②

三十五

菊池が捨てた白（はく）を鳴き返して、次順、發（りゅうは）を暗槓（あんかん）、嶺上開花（りんしゃんかいほう）！「自摸（つも）ったよ、菊池の責任払い、逆転だぜ！」「大三元、字一色（つーいーそう）。明槓（みんかん）も一ヶありで、青天井だ」

よせよ三十三、あついまは、三十五だっけな。 #twnovel

:

Chapter③

それでキャラに

『白發』と鳴いて直木、『中』を手牌出し。続いて菊池が切った『中』を鳴き返して大三元を自摸！菊池の責任払いでトップ逆転だ。

「さあ精算しようぜ、菊池」「待ち合わせがねえなら、こんどの文学賞に`オレの名前、を付けるや、それでキャラにしてやるぜ」「なに`直木賞、ってか？」 #twnovel

:

Chapter④

文学史の闇

オマエが負けたら、今度の文学賞にオレの名前を付けるんだぜ。いいぜ、よしやろうぜ、と始まった賭け麻雀、ジャンゴ口擬（もど）きの直木三十五に難なくひねられて大負けした菊池寛。

といった遣り取りから『直木賞』が決まったという、文学史の暗い闇。直木三十五、その作品にいま陽はあたらず。 #twnovel

:

Chapter⑤

まゆつば

直木三十五と麻雀に興じた菊池寛、青天井ルールで負け金が巨額に。払いに窮した菊池、新設する文学賞に直木の名前を冠することで相殺にした。

小説家として時代に乗り遅れていた直木、後世は代打ち雀士として裏世界で暗躍、最期は和了牌（ロン牌）を掴んだまま絶命した、という逸話は眉に唾して。 #twnovel

高松中央図書館：菊池寛常設展示場でデジ撮（写真撮影OK）

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel=（≒140字物語）=#ツイノベ



s a k u j o

ネットオークションに潜んでいる魔物、張り巡らされている罠。

:

そのなかでも近ごろ、悲鳴に近い叫びが渦巻いているオークションサイトがある。

それは、ステーションナリーグッズ（文具）を出品しているサイト、

他と比べてバラエティな品揃え、しかもかなり安いので人気だが、

ある日を境に理由（わけ）もなくいきなり、

落札者のことごとくを『落札者都合による削除』にしはじめたのである。

規定により、ステータス欄に『非常に悪い』評価が付けられることになる。

落札者たちが何度抗議を試みても梨の礫（なしのつぶて）、まったく反応がない。

:

こんな状態がもう1年以上も続いていて、オークションユーザーの間では、

いつしか彼女のことを『削女』（さくじょ）と呼ぶようになった。

T w i t t e r ではいま、この話題で持ちきりである。

数ヶ月前、IDネーム『削女班』（さくじょはん）が起ちあげられて、

ハッシュタグ「#sakujō」を付けて共通の悩みを持つ人たちへ発信を始めた。

現在もRetweetがRetweetを生み、

一日数千件の怒号と罵声とあきらめのTweetが行き交っている。

:

6年前ミッション系女子ハイスクールを卒業して、事務系の職を得た彼女。

もともとは大人しくきまじめな性格で、会社でも目立たない存在だった。

そんな彼女のただ一つの趣味が文具コレクション。

オシャレな商品を見つけては「普段使い」「予備」「保存」にと使い途を決めて、

いつも3個いっしょに購入する程の文具好き、文具フェチであった。

部屋の壁には、特別に設（しつら）えた棚一面に文具が整然と並べられ、

さながらショップのようだったという。

やがて、

収納しきれなくなった文具をオークションに出品するようになった訳だ。

:

彼女はまた、ある女性が運営するファッション小物のオークションサイトで、

頻繁（ひんぱん）に入札を繰り返していた。

さらに、取引ナビで連絡事項のやりとりを重ねているうちに、

会話をするように・・・。

このナビ、言ってみればメールのようなもので、

やりとりを重ねるうちにプライベートなことまで語り始めていた。

運営者に感情移入していったのだが、かなり辟易（へきえき）してきたこの女性、

ある日突如として彼女が落札した商品を『落札者都合による削除』扱いに。

しかも取引ナビには『二度と出入りしないで下さい』と書き込まれてあった。

この時の彼女のショック、落胆は喩えようもないほど大きく、

いつしかそれは怒りを超えて憎悪に、さらには呪いへと変わっていった。

丁度その時期と一致するのだ、彼女が「削除」を始めたのは。

いまTwitter／#sakujouで

際限もなく呟かれている『削女』（さくじょ）への恨み節に混じって、

もうすぐオークションサイトを閉じるという噂が飛び交っている。

しかし新しいIDを取得して再開するのであろう、きっと。

そしてまた、おぞましい呪いの連鎖が始まるのだ。

Photoと本文は一切関わりのない、著作権フリー（改変OK）画像です。



異世界

夜半から小さな雨が降り続いていたのに気付かなかったのは、

きっと胸騒ぎのせい。

軍靴の蹠音（あしおと）がこの山奥の里まで忍び寄っていたなんて。

イヤホンから微（かす）かに聴こえる鉱石ラジオの音が、

連日勇ましい戦果を告げているのに。

だがしかし、一昨日の朝、

里の若い衆が麓の村で秘かに見てきた光景に絶句。

通りでは痩せこけた子どもたちが、

鳴き声さえたてない乳飲み子を抱いた母親たちが、

万歳で送られる出征の少年たちの姿が。

オレたちの村は、いやこの国は、

こへ追いやられようとしているのか。 #twnovel

：

あの時代へ

未来。働き盛りのサラリーマンや、若者たちが街から消えた。

この日はタイムトラベル解禁日、

全員、バブル景気前夜のニッポンへ行ってしまった。

終身雇用、年功序列のぬるま湯ながら、

なにはなくとも明日の希望があった、あの昭和へ。 #twnovel

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel= (≒ 140字物語) =#ツイノベ
Photoはネットから無断転載。不可の場合は一報を。

ラーメシ



ラーメシ

うわさの飯やさん、

壁には『ラーメシ』の品書きが一枚だけ貼ってある。

「へえ、できるのはこれだけでして」と申し訳なさそうに老主人。

待たせること5分、即席ラーメンと冷やご飯、

自家製ぬか漬けが運ばれてくる。 #twnovel

* サッポロ一番袋麺、炊きたてご飯の冷蔵、季節の野菜ぬか漬け

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel=(≒140字物語)=#ツイノベ

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

三途の渡し



三途の渡し

三途の渡し) 三途川 (さんずのかわ、さんずがわ) は、此岸 (現世) と彼岸 (あの世) を分ける境目にあるとされる川。渡し舟 (片道料金: 6文銭) が出ている。

:

海の舟は戻ってくるが、

野の舟は戻ってこないという・・・。

しかし望む人たちの記憶の裡 (うち) に戻ってくる、

日常の時々。

:

渡船場にて

夏は (極楽浄土の) 釜の蓋が開いて、懐かしい人たちが還ってくる季節。

水面の花びらが彼岸へ導く川辺で船を待っている時、

ふと目に入った赤ちょうちん。

こんな所に居酒屋が・・・ついふらっと縄のれんをくぐったのが運の尽き、

最終便に乗り遅れてしまった。

逝くあてなく此岸をさ迷う私に、どなたか酒を一杯飲ませておくれな、

金ならあるよ六文銭。 #twnovel

：

賄賂

お爺ちゃんが99歳で亡くなった、大往生だった。

お葬式、棺に三途の川の渡し賃として

六文紙銭（天界、人界、餓鬼道などの世界の担当者に一文ずつ渡す）を

持たせるところ、余分にもう六文、

「地獄の沙汰も金次第とかいうじゃないか」とお婆ちゃん。

「それって賄賂？」と孫娘。 #twnovel

：

寿命玉

三途の渡し場でもらった乗舟記念袋には、

脈打つように輝く『飴玉』が入っていた。

「旦那良かったね、それ、寿命玉、だよ。彼岸に着くまで舐めていると

いいことあるよ」と船頭。「そうなの？」。

臨終に集まっていた親族たちが、おおっ！と驚いた。

死亡診断を受けたばかりのおじいさんが、

くちをモゴモゴさせ始めた。 #twnovel

：

岡本一家

そらミロ、ダリだ？キリコだ！

そんな会話が、巴里のシュールリアリスト巨匠展で飛び交った。

岡本太郎がこの時「ゲージュツは爆発だあ！」と叫んだ逸話はつとに有名。

しかし母かのこは冥界でオトコ三昧、

父一平は三途の川の渡し場で似顔絵描きに精を出していた。 #twnovel

:

眠りの渡し

舟が出るぞ〜！深夜の渡し場に、高らかにわたる船頭の声。

「ああ、乗り遅れちゃったよ、あれが最後の舟なんだよな」。

かくして眠れない夜が朝まで。 #twnovel

:

民間伝承

あの世へ渡る橋のたもとで振る舞われるスープを飲むと、前世の記憶が消えて、飲まないで記憶が残る。記憶が残っている人に訊（たず）ねると、昆虫や鳥に生まれ変わることはなく、男女が入れ関わることも少ない。また前世の記憶が残っていて良かったかどうかは五分五分だという。

CHINA発

:

ゴクラク道

人は死ぬと*ゴクラク道四十九次の旅をする。

宿場では湯地（ゆち）、美酒佳肴（かこう）のご接待。

終点のゴクラクに到着すると若々しい躰（からだ）に還って、

酒池肉林の宴が永劫（えいごう）繰り広げられる。 #ツイノベ

だから誰一人として、*憂き世には帰ってこないのさ。

:

*極楽道 *つらい世

:

誰も寝てはならない。

①眠りに落ちる寸前、

そこから引き戻そうとするチカラを感じる。

そのチカラとは、三途の川を挟んだ兩岸に睡眠（彼岸）と覚醒（此岸）があり、

「そっち（彼岸）へ渡ってはならない！」と警告する念である。

眠りは“無明”、すなわち死を意味する。

:

②また欠伸（あくび）は、夜も禽獣たちに襲われていた原始時代、

寝てはならない！と本能が発した危険シグナルだ。

何億年にも亘って受け継がれたDNAがいまなお健在という訳だ。

・・・これ本当か！？

:

お前百までわしゃ九十九まで。『寿命玉』

<https://blogs.yahoo.co.jp/axros03/45670309.html>

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

再・推敲 #twonovel=Twitter Novel=（≡140字物語）=#ツイノベ